

取扱説明書

AQUA

全自動電気洗濯機 家庭用

品番 AQW-H71 

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意 必ずお守りください	2
各部のなまえ / 付属品	4
ふたロックと解除方法	4
操作パネル部のはたらき	5
洗濯の前に	6
各コースの所要時間	8
環境に配慮した使いかた	8
洗剤類の使いかた	9
【使用量・粉石けん・洗剤・漂白剤・ソフト仕上剤・のりづけ】	

使いかた

洗濯する 標準 すぎ1回	11
自分流の運転内容を記憶させる 自分流	12
デリケートな衣類を洗濯する ドライ	13
毛布・ふとんを洗濯する 毛布	16
風乾燥をする	18
コースの運転内容を変更する お好み設定	20
予約運転をする	21

必要なとき

このようなときは	22
■凍結の恐れがある	
■洗濯液を2度使いたい	
■風呂の残り湯を使いたい	
■自動設定水量を調節したい	
■洗濯・脱水槽内の水を排水したい	
■終了ブザー音を消したい	
■運転途中に変更したい	
■チャイルドロックを設定したい	

お手入れ	23
■本体	
■洗濯・脱水槽 槽洗浄 ■糸くずフィルター	
■給水口 ■排水口 ■ソフト仕上剤・洗剤投入容器	

据え付け	25
こんな表示がでたとき 修理を依頼する前に	32
故障かな?	33
別売部品	34
保証とアフターサービス	35
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	35
仕様	35

このたびは、全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
保証書は必ず記入事項を確かめて、販売店からお受け取りの
うえ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

上手にを使って上手に節電

ご愛用者登録のお願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願い致します。

<http://aqua-has.com/support/reg/>



安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

死亡や重傷を負うことが想定される内容です。



注意

傷害や物的損害の発生が想定される内容です。

■お守りいただく内容を次の表示で区分し、説明しています。



してはいけない「禁止」内容です。



必ず実行していただく「強制」内容です。

※お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。



警告

本体／洗濯・脱水槽



- 子供を洗濯・脱水槽内に入らせない
(感電・けが・おぼれる原因)
- 子供には洗濯・脱水槽をのぞかせない
本体の近くに台などを置かない
子供など不慣れなかただけで使わせない
(洗濯・脱水槽への落下によるけがの原因)

- 回転中の洗濯・脱水槽に手などを入れない

完全に止まるまでは、絶対に触らないでください。ゆるい回転でも洗濯物が手に巻き付くことがあります。

(けがの原因)

特に子供には注意してください

- 絶対に分解・修理・改造はしない

(火災・感電・けが・水もれの原因)

修理はお買い上げの販売店、または当社

修理相談窓口にお問い合わせください。➡P36

- お手入れなどで、本体各部に直接水をかけない

(火災・感電・故障・変形の原因)

- 火気を近づけない

ローソク、タバコ、蚊取り線香など

(火災・変形の原因)

- 引火物や、引火物の付着した洗濯物を絶対に洗濯・脱水槽に入れたり近づけたりしない

引火物：灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなど引火性のあるもの

(爆発・火災の原因)

- 操作部付近に磁石など磁気を帯びたものを近づけない

(上ぶたが開いた状態での誤動作による)
(けがの原因)



- 動かない・煙が出た・変な臭いがするなどの異常を感じたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼する

(感電・漏電・ショートによる火災の原因)

電源プラグ・コード



- 電源プラグや電源コードが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

(感電・ショート・発火の原因)

- 傷付け・加工・破損・無理な曲げ・たばねる・引っ張る・ねじる・重いものをのせる・はさみ込むなどしない

(破損による火災・感電の原因)

- めれた手で抜き差ししない

(感電の原因)

- 延長コードは使用しない

(火災・感電の原因)

- テーブルタップによるタコ足配線はしない

(火災・感電の原因)



- 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う

電源プラグは根元まで確実に差し込む

(感電・けがの原因)

- 定期的に電源プラグのほこりなどを乾いた布で拭き取る

(ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因)

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たず電源プラグを持って抜く

(感電・ショート・発火の原因)

- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

(感電・けがの原因)

- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

(絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)

警告

据え付け

- 浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所に据え付けない
(火災・感電・故障・変形の原因)
- 排水ホースの付け換え作業時には、必ず手袋をする
(けがの原因)
- アースを取り付ける
(故障・漏電による感電の原因)
必ず電気工事店や販売店に依頼してください。
工事費は本体価格には含まれません。

上ぶた

- ロックしている上ぶたを無理に開けない
(上ぶた・ロック機構の破損、けがの原因)
- 上ぶたの折れ曲がり近くに手を置いたまま、上ぶたを開閉しない
(手や指をはさむことによるけがの原因)

注意

洗濯物

- 防水性のマット・シートや衣類、足拭きマットなどの固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水・風乾燥をしない
(洗濯物の飛び出し、異常振動によるけが、本体・かべ・床などの破損、衣類の損傷、水もれ被害などの原因)

例

足拭きマットなど固くて厚いもの、寝袋、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、雨ガッパ、カーペット、スキーウェア、ウインドブレーカー、自転車・バイク・自動車のカバー、防水シートなど、その他、防水性の水を通しにくいもの

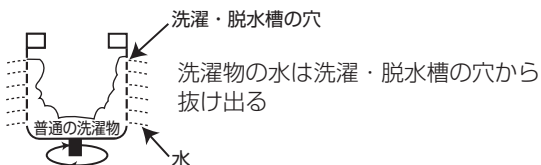
■防水性衣類の確認方法

衣類に口を当て、息を吹き付けて息が通らない場合は、防水性衣類です。

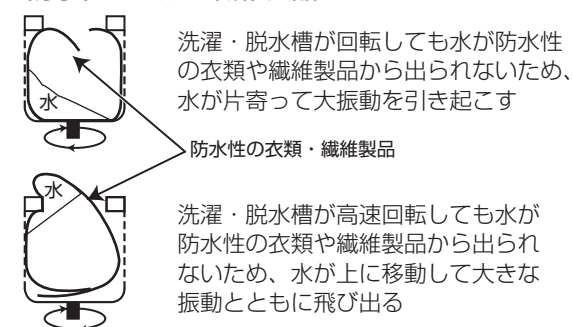


脱水のご注意

■普通の洗濯物



■防水性の衣類・繊維製品



据え付け

- 直射日光のあたる場所には置かない
(プラスチック部品の変色や変形の原因)
- 冬期に凍結の恐れのある場所には置かない

本体

- 本体の上のにぼったり、物を置いたりしない
(変形・破損によるけがの原因)
- 運転中、本体の下に手足を入れない
(けがの原因)

給水

- 50℃以上のお湯は使わない
(感電・漏電の原因)
- さび・砂鉄の含まれる水は使わない
(井戸水・さびた給水管などの使用は)
水もれ・故障の原因

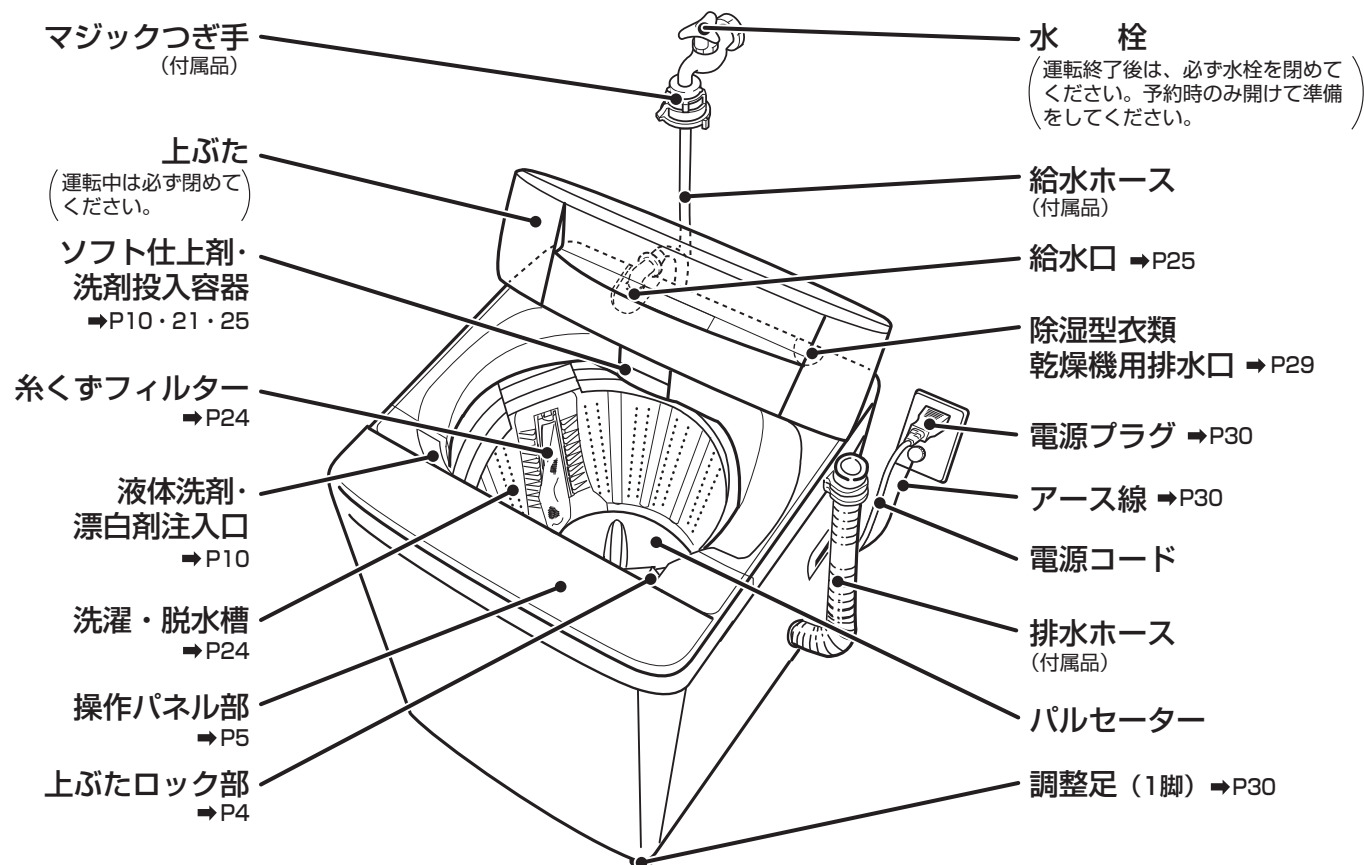
確認すること

- 運転前は水栓を開き、水もれがないか確認する
(水もれの原因)
- 運転終了後は、必ず水栓を閉じる
(水もれの原因)

お願い

- 雷が発生したときは、早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。落雷により故障することがあります。
- すずぎ・脱水中にふたがロックされない場合、脱水中にロックを解除しても洗濯・脱水槽が回転している場合、「E4」を表示した場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。

各部のなまえ / 付属品



付属品



ホースバンド (1個)

排水ホース → P26
(1本・長さ約80cm)



給水ホース → P29
(1本・長さ約80cm)



マジックつぎ手 (1個)
→ P28

ふたロックと解除方法

「すすぎ」「脱水」「風乾燥」「チャイルドロック設定」時は、上ぶたがロックされます。

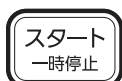
「チャイルドロック」設定・解除方法 → P23

○ふたロック

- 点灯中
上ぶたはロックされ開きません。
- 点滅中
ロック動作開始～完了までの間、または解除中です。
- 消灯中
上ぶたを開けることができます。

ふたロック中に 上ぶたを開けたい

運転中



を押す

「ピピッ」と鳴り、
●ふたロック が 消灯後
開けてください。

電源が入っていないとき

運転中に停電したときや電源プラグをコンセントから抜いたときは、ロックされたままになります。

電源を「入」にして、●ふたロック が
消灯後、開けてください。

-  が点滅したとき : ふたロック解除中です。点滅中は何も受け付けません。
→ 表示が消えるまでお待ちください。
-  が点灯したとき : チャイルドロックが設定されています。
→ 設定を解除してください。 → P23

操作パネル部のはたらき

残時間・予約時間・水量・設定内容などの表示

残時間

(例) 残り20分の場合

残り
分

20

99分をこえるとき

2H(2時間)、3H(3時間)
と表示し、10時間以上は
-- と表示します。

予約時間

(例) 6時間後に運転を終了させる場合

予約
点滅

6

水量

(例) 55Lの場合

L

55

運転中は **水量** を
押すと設定水量が確認
できます。

注水すぎ時

点滅 注水すぎ時 点灯
注水すぎ

お知らせ表示

異常が発生したときに
点滅とブザーでお知らせ → P32
(例) 給水しない場合

E1

布量検知中

→ P7

--

ふたロック解除中

槽回転中に電源を切った
ときに点滅 → P4

[]

「」は粉末合成洗剤
(水30Lに対し20g)
のスプーンを基準に
しています。
(すりきり1杯約47g)
のもの
→ P9

進行表示

- 運転中の行程を点滅、
残りの行程を点灯で
表示します。
(予約待機中は
予約ランプのみ点灯)

コース

- コースを選ぶときに
洗濯物の種類や汚れ
に応じて選びます。
- 選んだコースのラン
プが点灯します。

ふたロック表示

- 点灯中…上ぶたはロックされ開き
ません。
- 点滅中…ロック動作開始～完了ま
での間、または解除中です。
- 消灯中…上ぶたを開けることがで
きます。
解除方法 → P4・23

洗剤の目安
 …… 55L
 …… 48L
 …… 41L
 …… 30L
 …… 15L

風乾燥
 予約
 洗い
 すすぎ
 脱水
 注水すぎ
 化繊3.0kgまで

COUNTDOWN
DISPLAY

スタート
一時停止

ドライ
毛布
槽洗浄
標準
コース
自分流
すすぎ1回
ふたロック
電源切/入
オートオフ

設定

- 予約時間・洗い時
間・すすぎ回数や
方法・脱水時間・
風乾燥の設定に

水量

- お好みの水量に変更する
ときに
- コースによっては選べない
水量があります。→ P8

スタート／一時停止

- スタートするときに
- 一時停止するときに
再び押すと運転を再開します。
- 運転中に上ぶたのロックを
解除するときに → P4

選ぶ

- 予約運転をするときに → P21
- 「洗い」「すすぎ」「脱水」を、お好みの設定に変更
するときに → P20
- 風乾燥をするときに → P18
- コースによっては選べない項目があります。

電源 切/入

- 電源の 入・切 に
- オートオフ機能 (自動的に電源が切れます)
 ● 運転終了時 ……約5秒後
 凍結防止(残水排水)設定時は、10分後に切れます。→ P22
 ● スタートさせずに放置したとき ……10分後
 ● 電源を入れると記憶しているコースのランプ
 が点灯します。→ P7



お知らせ

● ボタン操作で各種設定(凍結防止設定、終了ブザー音を消すなど)をすることができます。このようなときは → P22~23

各部のなまえ／付属品

ふたロックと解除方法

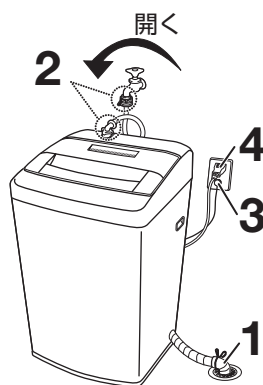
操作パネル部のはたらき

洗濯の前に

本体の準備

- 1 排水ホースを排水口に差し込む
 - 排水ホースの抜けがないか確認してください。
- 2 給水ホースをつなぎ、水栓を開ける
 - マジックつぎ手や給水ホースの接続部などから、水もれがないか確認してください。
- 3 アースを取り付ける
- 4 電源プラグをコンセントに差し込む

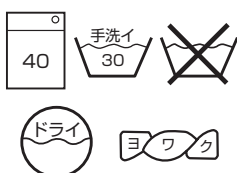
詳しくは、「据え付け」をお読みください。➡ P25~31



洗濯物の準備

洗濯物を確認する

衣類の取り扱い絵表示に従う



髪の毛・ペットの毛は落とす



- 本体の故障を防ぐためです。

飾りのある衣類、起毛素材の衣類は裏返して洗う

- 衣類の傷み、毛玉を防止するためです。



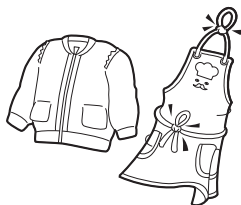
ひもは結ぶ

ボタンは留める

ファスナーは閉める

マジックテープは留める

- 衣類や本体を傷つける原因になります。



ポケットの中に何も入っていないことを確認する

カーテンフック、ワイシャツのプラスチッククリップなどは必ず取り除く

- 排水経路にゴミや異物が詰まり故障の原因、異常音の原因、衣類を傷める原因になります。



衣類の取り扱い絵表示 (例)



40℃以下で洗濯機で洗濯ができる



40℃以下で洗濯機の弱水流で洗濯ができる



30℃以下で弱い手洗いがよい



水洗いはできない



ドライクリーニングができる



塩素系漂白剤による漂白はできない



洗濯機で脱水するときは、短時間にする



ハンガーなどに干しをするのがよい



平らなところに広げて干すのがよい



日陰で平らなところに広げて干すのがよい

汚れがひどいものは前処理をする

しみ汚れ

- 酸素系液体漂白剤や専用洗剤などを塗る
- 食べ物のしみの場合、付いたらすぐに汚れを取り除く
- 飲料水・化粧水が付着した衣類は長時間放置せず、すぐに洗い流す (ピンク色に変色する原因)



えり・そで汚れ

- そで口・えりなどの汚れは、専用洗剤を塗る
- または、石けんや洗剤液をつけて、やさしくブラッシングする



泥や砂汚れ

- 石けんや専用洗剤をつけてもみ洗いをする
- ブラシなどで落とす (本体の故障を防ぐため)



洗濯物を仕分ける

新しい色柄物・色落ちしやすいもの

➡ 分け洗いのする

■色落ち確認方法

洗剤液を含ませた白いタオルなどを目立たない部分に強く押しあて、タオルに色移りがないか確認する



糸くずの付着が気になる衣類

- ➡
- タオル・バスタオルとは、分けて洗う
 - 市販の糸くず防止ネットや細かい網目の洗濯ネットに入れて洗う
 - 裏返して洗う

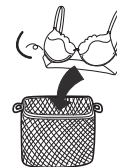
デリケートな衣類

➡ 洗濯ネットに入れて「ドライ」コースで洗う

- レースのついた衣類、ランジェリー、ナイロンストッキング、化繊のうす物 など



- ワイヤー入りのブラジャーは、必ず市販の洗濯ネット（細かい網目）に入れる
- ワイヤーが飛び出し、本体や他の洗濯物を傷める原因になります。



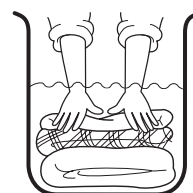
ご注意

- ワイヤーなどの芯材が入った洗濯ネットは、使わないでください。
 - 洗濯ネットに衣類を詰め込みすぎないでください。
 - 大きめの洗濯ネットを使用したり、複数の洗濯ネットを入れた場合は、振動が大きくなったり、脱水ができないことがあります。
- ➡一時停止して洗濯・脱水槽内の洗濯物の片寄りを直してください。

洗濯物の入れかた

- 水に浮きやすいもの（化繊100%、混紡衣類など）やかさばるもの（カーテンなどの大物、ジーンズ・柔道着など厚手の衣類）から、先に入れる
- 水に浮きやすいものやかさばるものは、浮かないように均一によく押し込む
 - 洗濯物が浮いていたら、一時停止して洗濯液に押し込み、水を十分含ませてください。
- 洗濯物は入れすぎない

給水時に水が飛び散り床がぬれる・汚れがよく落ちない・脱水時にはみ出して洗濯物や本体が破損する原因になります。



知っておくと便利な機能

記憶機能

スタートから約30秒後に自動的に運転したコースを記憶します。

次回



記憶しているコースのランプが点灯します。



スタート
一時停止

ワンタッチでスタートができます。

記憶するコース

「標準」「すすぎ 1 回」「自分流」コース



お知らせ

- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときも、記憶しています。
- **選ぶ** を押して変更した運転内容は記憶しません。

記憶させたいときは、「自分流」コースをご利用ください。➡P12

布量検知 (洗濯量の計測)

スタート
一時停止

を押すと、自動的に洗濯量を調べ、水量を表示します。

水のない状態で、パルセーターが回転して布量検知をします。水量を参考に洗剤類を入れてください。

布量検知するコース

「標準」「すすぎ 1 回」「自分流」コース



お知らせ

- 自動設定水量は、調節できます。➡P23
- 必要に応じて、**水量** で水量を変更してください。

洗濯・脱水槽内にはじめから水が入っている場合

洗濯物がぬれている場合

水が底から約 10cm 以上入っている場合

お好み設定で「すすぎ」からスタートした場合

布量を多めに判定します

布量検知をしません

55L に設定されます
➡洗濯量に応じた水量を設定してください。

各コースの所要時間

- ・ 9分 は、標準時間を表わしています。
- ・ 上段 50Hz 下段 60Hz
- ・ ひとつだけの表示時間は、50Hz・60Hz 共通になります。

コース	水 量	洗い	すすぎ	脱水	所要時間
標 準	15 L～55 L 無段階自動設定	9分 6～9分 (高濃度クリーン洗浄2分)	2 回 (シャワー+ため)	7分 6～7分 6分 5～6分	38分 32～38分 37分 31～37分
すすぎ 1 回		9分 6～9分 (高濃度クリーン洗浄2分)	1 回 (ため)	7分 6～7分 6分 5～6分	33分 27～33分 32分 26～32分
自分流		12分 (高濃度クリーン洗浄2分)	注水 2 回	7分 6分	48分 45～48分 47分 44～47分
ドライ	48L(自動設定水位) 55L・41L・30L に切り換え可	4分	注水 2 回*	1分	24分 21～24分
毛 布	55L(自動設定水位) 48Lに切り換え可	12分	注水 2 回*	7分 6分	48分 47分
槽洗浄	変更できない	洗いの前に つけおき 11 時間 + 洗い 5 分	注水 2 回 + シャワー 40 秒	5分	約 12 時間

※注水すすぎの2回目は、始めにためすすぎをします。(ソフト仕上剤の効果を出すため)



お知らせ

- 所要時間は、水道水圧・排水条件などにより変わります。給水量が毎分 15 L のときの目安です。
- 洗濯・脱水槽内にはじめから水があるときや水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わる場合があります。
- シャワーすすぎ時、給水量が少なく（毎分約 5 L 以下）、すすぎ具合が不十分なときは、自動的にためすすぎを 1 回追加します。

すすぎの種類

■ シャワーすすぎ

洗濯・脱水槽をゆっくり回し、給水と排水を同時に行いすすぐ



■ ためすすぎ

設定水量まで給水後、水をためてすすぐ



■ 注水すすぎ

設定水量まで給水後、注水しながらすすぐ



環境に配慮した使いかた



標準コース・給水量毎分 15 L・水量 55 L の場合で比較しています。

● 風呂水を使う ➡ P22

洗いの水が約 55 L 節水できます。

● 洗濯液を 2 度使う ➡ P22

コース運転を 2 回するのに比べ、約 47 L 節水できます。

● ためすすぎをする ➡ P20

注水すすぎに比べ、すすぎ 1 回につき約 31 L 節水できます。

本製品は洗濯量に応じて水量を無段階に自動設定します。洗濯物を入れ、スタートすると重量センサーがはたらき、適切な水量を設定します。



● まとめ洗いをする

洗濯回数が減ります。

本製品は待機時消費電力（電源スイッチを切にした状態の電力）が 0（ゼロ）になっています。



脂分をほとんど含まない汗やほこりのような汚れ

● 軽い汚れの場合、洗剤量を控えめにする

● 洗濯液を 2 度使う ➡ P22

洗剤量 2 回分が 1 回分で済みます。

● 洗剤を入れすぎない

洗剤類の使いかた【使用量・粉石けん】

水量	洗濯量 【乾燥布】 (上限)	合 成 洗 剤							粉石けん	ソフト仕上剤				酸素系 液体漂白剤	
		粉末		液体											
		水30Lに 対し →	20g	25g	10mL	20mL	25mL	40mL 中性洗剤		40g	7mL	10mL	20mL	20mL	40mL
55L	7.0kg		約37g	約46g	約18mL	約37mL	約46mL	約73mL	約73g	約13mL	約18mL	約37mL	約37mL	約73mL	
48L	5.0kg		約32g	約40g	約16mL	約32mL	約40mL	約64mL	約64g	約11mL	約16mL	約32mL	約32mL	約64mL	
41L	3.0kg		約27g	約34g	約14mL	約27mL	約34mL	約55mL	約55g	約10mL	約14mL	約27mL	約27mL	約55mL	
30L	1.5kg		約20g	約25g	約10mL	約20mL	約25mL	約40mL	約40g	約7mL	約10mL	約20mL	約20mL	約40mL	
15L	0.5kg		約10g	約13g	約5mL	約10mL	約13mL	約20mL	約20g	約4mL	約5mL	約10mL	約10mL	約20mL	

- 「すすぎ1回」コースは、超濃縮液体洗剤（すすぎ1回と表記されている液体洗剤）を使用してください。それ以外の洗剤を使用した場合、すすぎが不十分になります。
- 「ドライ」コースでの洗剤の使用量は、洗剤容器の「使用量の目安」に従ってください。
- は、コンパクトタイプの粉末合成洗剤（水30Lに対し20g）の1杯が約47gのスプーンを基準にしています。洗剤によりスプーン1杯の洗剤量が異なります。お使いの洗剤容器の「使用量の目安」に従ってください。
- 洗剤は、洗濯量と汚れの程度に応じて入れてください。
 - ・汚れが多い場合は、洗剤量を増やし、軽い汚れの場合は洗剤を控えめにしてください。
 - ・洗剤は入れすぎないでください。すすぎが不十分になり洗濯物に残ります。
 - ・特に液体洗剤は、軽い汚れでは泡立ちがよくなるので入れすぎにご注意ください。
- 洗濯量は、JIS（日本工業規格）規定の布地を使用した場合のものです。洗濯物の厚さ・大きさ・種類により洗濯量が変わります。布の動きが悪いときは、洗濯量や水量を調節してください。

軽い汚れとは、脂分をほとんど含まない汗やほこりのような汚れのことです。

洗濯物の重さの目安

作業服上・下 (混紡) 約800g	ジーンズ (綿100%) 約600g	パジャマ上・下 (綿100%) 約500g	バスタオル (綿100%) 約300g	ワイシャツ (混紡) 約200g	半袖肌着 (綿100%) 約110g	ブリーフ (綿100%) 約50g	くつ下 (混紡) 約50g

粉石けん

溶け残りを防ぐため、あらかじめ溶かしてください

洗濯・脱水槽内で溶かす場合

- 1 水栓を開き、電源を入れる
- 2 を選び、水量「15L」・洗い「3分」を設定する → P20
- 3 スタートして、上ぶたを閉める
- 4 給水が止まったら、 で一時停止して、粉石けんを「洗濯・脱水槽」内に均等に入れる
- 5 上ぶたを閉めて、再び スタートする
 - 運転終了後、電源を入れ直し、使用するコースや水量を設定し、洗濯を始めてください。

溶けにくい場合

- 1 バケツなどに約30℃のぬるま湯を約5L入れる
- 2 十分かきまわしながら、粉石けんを少しずつ入れる
- 3 固まったり、粒が残ったりしないようによくかきまぜ、洗濯・脱水槽に入れる
 - 水栓を開き、電源を入れ、使用するコースや水量を設定し、洗濯を始めてください。



お願い

- 粉石けんは、合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすく黄ばみや臭いの原因になります。すすぎは十分に行ってください。
- 使用量が多すぎたり、水温が低いと完全に溶けずに洗濯物に残ったり、ホースや洗濯・脱水槽内に残った粉石けんが浮き上がり洗濯物を汚すことがあります。その場合は、洗濯槽クリーナー(SWCLEAN-1)を使って「槽洗浄」コースでお手入れしてください。→ P24
- 予約時は、粉石けんを使用しないでください。（固まる恐れ）

洗剤類の使いかた (つづき) 【洗剤・漂白剤・ソフト仕上剤・のりづけ】

液体洗剤・液体漂白剤

液体洗剤

同量の水でうすめ、
「液体洗剤・漂白剤注入口」に入れる



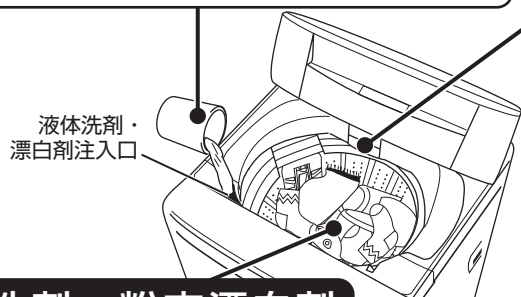
液体漂白剤

3 倍の量の水でうすめ、
「液体洗剤・漂白剤注入口」に入れる



洗いの給水が始まってから、入れてください。

- 塩素系漂白剤を直接、洗濯・脱水槽に入れたり、洗濯物にかけたりしないでください。(変色・布破れの原因)
- 操作パネル部にこぼさないようにしてください。
- 予約時は酸素系漂白剤を使用してください。



粉末洗剤・粉末漂白剤

「洗濯・脱水槽」に直接入れる

ご注意

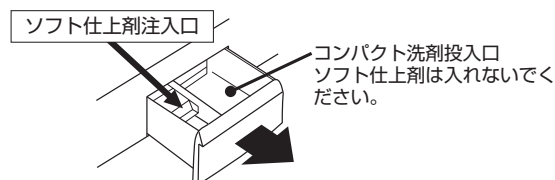
- 重曹は使用しないでください。(故障の原因)
- ジェルボール型洗剤は、「洗濯・脱水槽」に直接入れてください。

ソフト仕上剤

「ソフト仕上剤・洗剤投入容器」に入れる

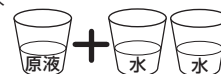
- 洗濯前に入れておくと、最終のすすぎで自動的に投入されます。
- すすぎ回数が1回でも自動的に投入されます。

1 「ソフト仕上剤・洗剤投入容器」を引き出す



2 「ソフト仕上剤注入口」にソフト仕上剤を入れる

- 濃縮タイプは、2倍の量の水でうすめ、よく混ぜてから入れてください。(固まる恐れ)
- 「ソフト仕上剤注入口」の「満量」位置以上に入れないでください。ソフト仕上剤がすぐ流れ出て、洗濯物に直接かかりシミになる場合があります。



3 「ソフト仕上剤・洗剤投入容器」を閉める

- 「ソフト仕上剤・洗剤投入容器」は確実に閉めてください。

- ソフト仕上剤は、入れすぎないでください。(衣類の黒ずみの原因)
- 操作パネル部にこぼさないようにしてください。
- ソフト仕上剤を入れた後、長時間(12時間以上)放置しないでください。固まる場合があります。

のりづけ

洗濯容量 1.5kg以下

1 水栓を開き、洗濯物を入れ、電源を入れる

2 標準を選び、水量(下表参照)・

洗い「3分」・脱水「1分」を設定する

水量	洗える量
41L	1.5 kg 以下
30L	1.0 kg 以下

お好み設定 → P20

3 スタート一時停止 スタートして、上ぶたを閉める

4 給水が止まったら、スタート一時停止で一時的に停止して、洗濯のりを「洗濯・脱水槽」に入れる

5 上ぶたを閉めて、再びスタート一時停止 スタートする

6 運転終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出す

使用できるのり

洗濯機用の化学合成のり
(酢酸ビニール系)

- 上記以外のものは、故障の原因になる恐れがあるので使わないでください。

のりづけ後は、洗濯・脱水槽を洗ってください
のりが残っていると、故障の原因になります。

1 洗濯物を取り出した後、電源を入れ、標準を選び、水量「55L」・洗い「7分」・脱水「1分」を設定する → P20

2 スタート一時停止 スタートして、上ぶたを閉める

お願い

- のりづけした洗濯物は、衣類乾燥機で乾かさないでください。(乾燥機フィルターの目詰まりの原因)
- 糸くずフィルターにたまった糸くずを取り除いてください。のりで固まって取れにくくなります。 → P24

洗濯する

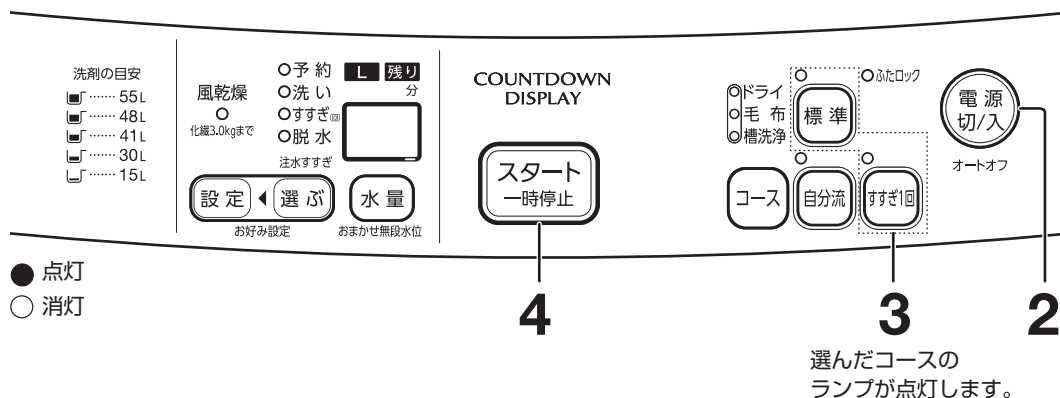
標準コース

綿素材の下着などの普段着を洗濯したいときに

すすぎ1回コース

超濃縮液体洗剤*を使用するときに

※超濃縮液体洗剤：「すすぎ1回」と表記されている液体洗剤



洗濯容量 7.0 kg 以下

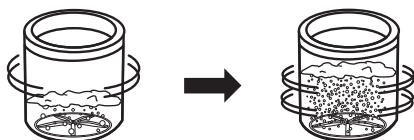


お知らせ

- 洗いの始めに
高濃度クリーン洗浄 をします。
- 洗剤は、入れすぎないようにしてください。
泡が立ちすぎたり、すすぎが不十分になります。
- 運転終了後は、衣類のシワ付きや色移りを防ぐため、すぐに干しましょう。

高濃度クリーン洗浄

高濃度の洗濯液を繊維の奥まで浸透させるため、少ない水量からかくはんを始め、水を追加しながら洗います。



対象コース

「標準」「すすぎ1回」「自分流」コース

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

2 電源切/入 ボタンを押す

3 標準 または すすぎ1回 を選ぶ

- 必要に応じ、「風乾燥」を設定してください。

4 スタート/一時停止 ボタンを押す

布量検知

→P7

- 水のない状態でパルセーターが回転し、布量検知を開始します。



検知中表示

- 検知後に水量を表示し、その後、残時間の表示に切り換わります。

5 給水が始まってから洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 粉末合成洗剤は溶け残り防止のため、洗濯・脱水槽内に均等に入れてください。
- 液体洗剤・漂白剤・ソフト仕上剤 →P10
(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません。)

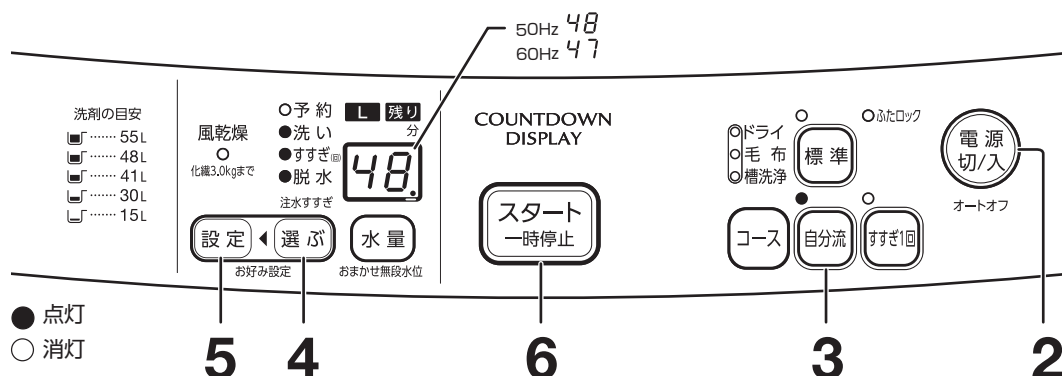
ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

自分流の運転内容を記憶させる

自分流コース

お好みの運転内容を記憶させることができます。次からは「自分流」を選ぶと前回設定した運転内容で運転することができます。
「水量」と「予約」は、記憶しません。



洗濯容量 7.0 kg 以下

購入時の設定

洗 い……12分
すすぎ…… 2回 (注水)
脱 水…… 7分 (50Hz)
6分 (60Hz)



お知らせ

- 洗いの始めに「高濃度クリーン洗浄」をします。→P11
- スタートして約30秒後に前回の内容は消え、新しい内容を記憶します。
- 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときも記憶しています。
- 布量検知により、所要時間表示が変わることがあります。

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

2 電源切/入 電源を入れる

3 自分流 を選ぶ

- 記憶内容を表示します。変更がなければ 6 へ

4 選ぶ 変えたい行程を選ぶ

5 設定 お好みの時間、すすぎ回数・方法を設定する

- 必要に応じ、「風乾燥」を設定してください。

6 スタート 一時停止 スタートする

- 水のない状態でパルセーターが回転し、水量を表示します。 布量検知 →P7

7 給水が始まってから 洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- 粉末合成洗剤は溶け残り防止のため、洗濯・脱水槽内に均等に入れてください。
- 液体洗剤・漂白剤・ソフト仕上剤 →P10
(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません。)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

デリケートな衣類を洗濯する

ドライコース

ドライマーク衣類などデリケートな衣類の洗濯に適しています。
衣類の縮みを防ぐためにやさしく洗います。

「予約」「風乾燥」運転はできません。

洗濯できるもの(例)

取り扱い絵表示が、



デリケートな衣類

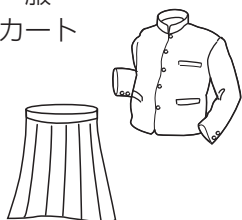
ウール、カシミア
アンゴラのセーター
カーディガンなど



絹、麻のワンピース
ブラウス、シャツなど



学生服、セーラー服
スラックス、スカート
ジャンパー
カーテンなど



洗濯できないもの(例)

取り扱い絵表示が、 の衣類

芯地を多く使っており、型くずれするもの
ネクタイ、ジャケット、スーツなど

水につけるだけで著しい収縮や変色、表面変化を
起こす恐れのある素材や型くずれしやすいもの
レーヨン、キュプラおよびその混紡品、絹、ウールなどの中で
強撚糸使いの生地、ジョーゼット、クレープ、ちりめんなど

毛倒れをするもの ビロードなどのパイル地

表面の凹凸などが消えやすいもの
シワ、エンボス、樹脂加工品など

皮革、毛皮、装飾品のついたもの

和服、和装小物

取り扱い絵表示がないもの、素材が不明なもの
色落ちしやすいもの

防水性のマット・シートや衣類など ➡ P3

洗濯前のチェック

初めて洗う衣類は、色落ちしないか
確かめる

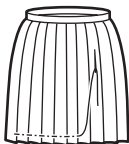
- 洗剤液を含ませた白いタオル
などを目立たない部分に強く
押しあて、タオルに色移りが
ないか確認してください。



- スカーフや外国製の衣類には色落ちしやすい
ものがあります。

毛素材などでブリーツ加工のものは、
開かないように糸で留める

- 糸は乾いてから取ってください。



ボタン・刺しゅうが付いている衣類は
裏返す

シミや部分汚れがないか確かめる

- シミは裏側にタオルをあて
洗剤液をつけ、一定方向に
ブラッシングしてください。



- ポケット周り・そで口・えり・
すその汚れは、洗剤液をつけ
ブラシなどで軽くたたいて
落としてください。

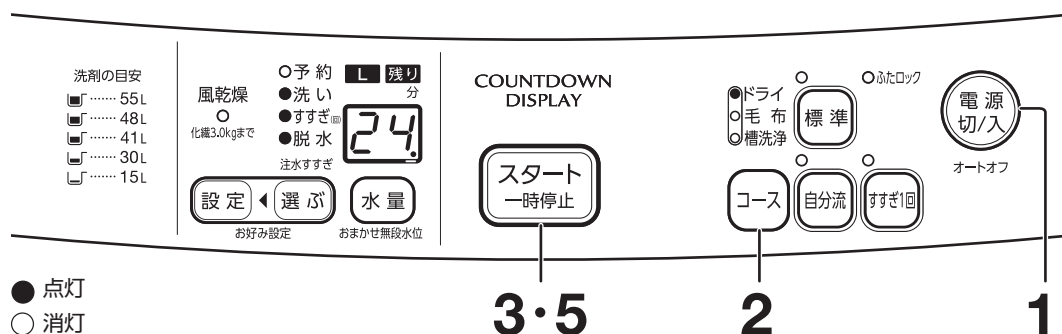


カーテンなどの大物以外は、洗い時間を
6分以内にする

- 自動設定は、4分になっています。
(縮みをおさえるため)
- カーテンのフックは、必ずはずしてください。

デリケートな衣類を洗濯する (つづき)

ドライコース



洗濯容量 1.5 kg 以下

■ 洗える量の目安

水量	洗える量
55L	1.5kg 以下
48L 自動設定	
41L	0.8kg 以下
30L	0.2kg 以下

■ 重さの目安

セーター 約300g	スラックス 約400g	ブラウス 約200g

お知らせ

- 水量は48Lに自動設定されます。お好みで水量を変更できますが、15Lは設定できません。(布傷み防止)
- 洗濯時間の短縮と洗濯物に水を早く吸収させるために設定より少ない水量から「洗い」が始まります。
- 洗濯終了後、すぐに衣類を取り出してください。長時間放置するとシワや縮みの原因になります。

1 電源切/入 水栓を開き、電源を入れる

2 コース 上ぶたが閉まっていることを確認して「ドライ」を選ぶ

3 スタート一時停止 を押してスタートし、給水が止まったら、もう一度 スタート一時停止 を押して、運転を止める

4 上ぶたを開いて、液体中性洗剤を洗濯・脱水槽内に入れ、手で軽く混ぜる

- ドライマーク衣類を洗うときは、水温を30℃以下にしてください。
- ソフト仕上剤 → P10
- 上ぶたを開くタイミングにより、「ピピッ」音とともに **U4** を表示する場合があります。お客さまの安全のため、運転中に上ぶたが開いたことを示す注意表示です。故障ではありません。次の手順のように上ぶたを閉めると運転を再開します。

5 スタート一時停止 洗濯物をたたんで水中に押し込み、上ぶたを閉めてから、再びスタートする
(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません)

ブザーが鳴ったら、運転終了

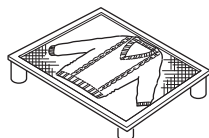
- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

ドライマーク衣類の上手な干しかた・アイロン仕上げ

干しかた

- 風通しの良い日陰に干してください。

ウール、アンゴラ、
カシミアなどの
セーター



形を整え、
裏返して平干し

絹、麻などの
ブラウスやワンピース



ハンガー干し

スカート



型を整えてハンガー干し
(伸びやすいものは平干し)

スラックス



折り目を合わせて
ハンガー干し

アイロン仕上げ

- スチーム・ドライやアイロンの温度などは、衣類の取り扱い絵表示に従ってください。
- てかりの出やすいスカート・スラックスやししゅう・ビーズのついたものは当て布をしてください。

■アイロンの表示について



この表示のものは
アイロンがけがで
きません。



アイロンの下に波がある表示は、
当て布をしてアイロンがけをし
てください。

■アイロンの適性温度



約80～120℃
アクリル系
ナイロン



約140～160℃
ポリエステル
毛・絹



約180～210℃
綿・麻

■セーター

全体の仕上げ

スチームアイロンを
軽く浮かせて
スチームをかけ、
形を整える



そで口などの部分仕上げ

手でたて方向に引っ張って形を整える

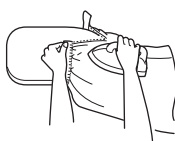
- 伸びきったゴム編み部分には、
たっぷりスチームをかける
- 押さえがけは、
しない



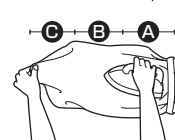
■スカート

- 左手を常に使い、少し引っ張る
ようにするのがポイントです。

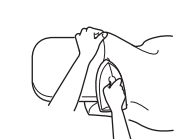
1 ファスナー
まわりをかける



2 Aの部分
から順に、
3段階に分
けてかける



3 すそを
微調整する



■スラックス

- 左手を常に使い、少し引っ張る
ようにするのがポイントです。

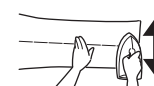
1 ファスナーまわ
りと腰まわりを
プレスする



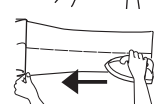
2 センターを
プレスする



3 すそを
プレスする



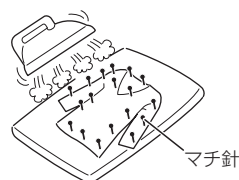
4 前・後の線を
プレスする



縮んだとき

- 1 伸ばしたい寸法に広げてマチ針を打つ
- 2 スチームアイロンを浮かせた状態でスチームをたっぷりかける
- 3 乾くまでそのままにしておく

- 衣類購入時、型紙をとっておくと便利です。



マチ針

毛布・ふとんを洗濯する

毛布コース

毛布・掛けふとんなどの大物の洗濯に適しています。

必ず、大物洗い用洗濯ネット(CN-3)をご使用ください。 別売 → P34
使用しないと洗濯物が洗濯・脱水槽からはみ出し、擦れて洗濯物や本体を傷めたり、水が飛び散ったりする恐れがあります。

「風乾燥」運転はできません。

洗濯できるもの

毛布

取り扱い絵表示が  の

- アクリルまたはポリエステル100%の
マイヤー・タフト毛布

大きさ ダブルサイズ (180cm×230cm) 以下

洗濯容量 4.2 kg 以下

- 綿毛布

大きさ シングルサイズ (140cm×200cm) 以下

洗濯容量 6.0 kg 以下
1.5kgのもの 4枚まで

ふとん

取り扱い絵表示が  の

- 中わたがポリエステル100%の夏掛けふとん

大きさ 180cm×210cm以下

洗濯容量 1.8 kg 以下
中わた: 1kg以下

- 洗濯機で洗えると記載されている羽毛ふとん

大きさ 150cm×210cm以下

洗濯容量 1.8 kg 以下

洗濯できないもの

毛布

- 純毛の毛布

- 電気毛布

電気毛布は洗えるものと洗えないものがあります。電気毛布の取扱説明書に従ってください。

- ロングパイル(毛足1cm以上)の毛布

洗濯すると毛倒れする恐れがあります。

ふとん

- 取り扱い絵表示のないもの

- 側生地がタオル地のもの
(毛足1cm以上)

洗濯すると毛倒れする恐れがあります。

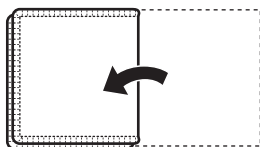
- 中綿がポリエステル、
羽毛以外のもの

洗濯前の準備

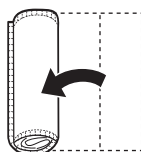
大物洗い用洗濯ネットに入れてください

シングルサイズの場合

- 1 長い方を
2つ折りにする

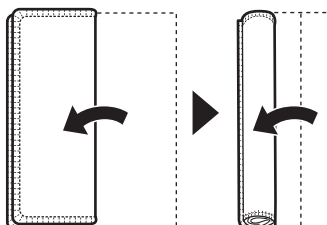


- 2 同じ方向に
3つ折りにする



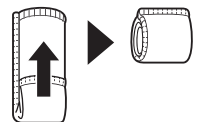
ダブルサイズの場合

- 1 短い方を
2つ折りにする



- 2 同じ方向に
3つ折りにする

- 3 巻く

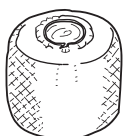


- 4 フチのある方を下にして
洗濯ネットに入れる



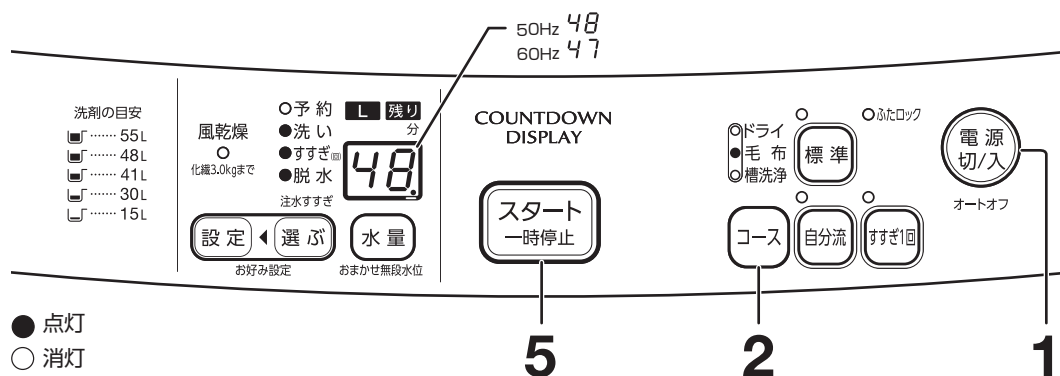
- 5 ひもを固く結んでリボン結びにする

- リボン部分は洗濯ネットと毛布の
間にはさみ込んでください。



お願い

- ゴミや糸くずは、取り除いておいてください。
- 綿毛布を2枚以上入れる場合は、重ねて折りたたんでください。



お知らせ

- 水量は55Lに自動設定されます。48Lに変更することができます。

ご注意

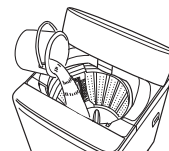
- 洗剤は、入れすぎないようにしてください。入れすぎると溶けずに残ることがあります。
- 夏掛けふとん・羽毛掛けふとんは、水に浮かないように均一によく押し込んでください。

1 電源切/入 水栓を開き、電源を入れる

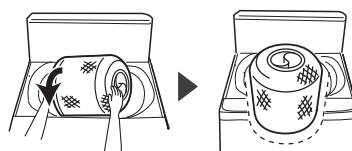
2 コース 「毛布」を選ぶ

3 洗剤を入れる

- 粉末合成洗剤は、溶け残りをなくすため、約30℃のぬるま湯(約5L)に入れ、よく溶かしてください。溶かさずに入れると、白く残ることがあります。
- 液体洗剤・漂白剤・ソフト仕上剤 ➡P10



4 洗濯ネットに入れた毛布・ふとんを入れる



横向きに入れ、洗濯・脱水槽内で、洗濯ネットの口側が上になるように起こすと、入れやすくなります。

5 スタート一時停止 スタートし、上ぶたを閉める

(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません。)

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

毛布コース

洗濯が終わったら

取り出すときは

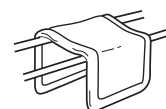
洗濯ネットのひもをほどき、毛布・掛けふとんの中心部を持って引き出す



乾燥は

風通しのよい日陰で自然乾燥、または毛布乾燥機能のある衣類乾燥機で乾燥する

- 毛布は生乾きのうちにブラッシングするときにきれいに仕上がります。
- 綿毛布・掛けふとんの乾燥は、その取り扱い絵表示に従ってください。



風乾燥をする

洗濯・脱水槽の高速回転で大量の風をとりこみ、ヒーターを使わない省エネ方式で洗濯物の水分を飛ばします。少量の化繊衣類の乾燥や、洗濯物の干し時間の短縮に使用します。

「ドライ」「毛布」「槽洗浄」コースでは設定できません。

風乾燥できるもの

(例)



トレーニングウェア



ワイシャツ



作業服

ほぼ乾燥できる容量：化繊 3kg以下

- 洗濯物の入れすぎは、乾燥不足や、シワ、洗濯物の飛び出しによる破れの原因になります。
- フリースなど厚手の衣類を風乾燥するときは、容量を2kg以下にしてください。運転中に飛び出し、破れる原因になります。

風乾燥できないもの

下記の取り扱い絵表示のある衣類



色落ちしやすい衣類

ウールの衣類

シワが気になる衣類 (綿100%シャツなど)

型くずれしやすい衣類 (肩パット入りなど)

防水性のマット・シートや衣類など → P3

毛布・掛けふとん・シーツ

3kgの目安

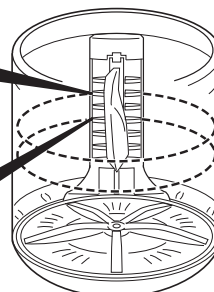
軽く押さえて入れたとき

乾いた洗濯物

上から2番目の凸部

脱水後の湿った洗濯物

上から4番目の凸部

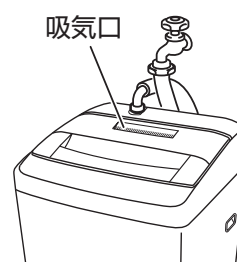


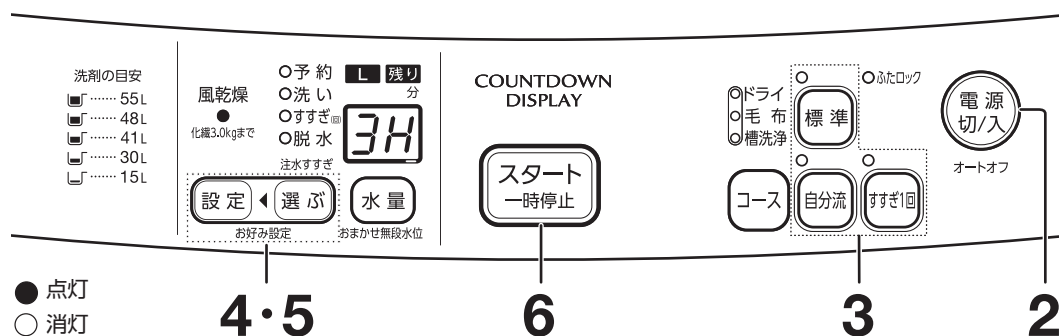
ご注意

- 洗濯物の量・種類、気温、湿度、設置環境により仕上がり具合が変わります。
- 乾きムラや乾燥不足があるときは、その程度に応じて再度運転してください。
- ヒーターを使わないため、乾いていても洗濯物が冷たいので、乾いていないように感じる場合があります。

お願い

- 上ぶたに風乾燥用の吸気口があります。吸気口の上に物を置かないようにしてください。
- 定期的に吸気口をお手入れしてください。目詰まりすると「風乾燥」の性能が低下します。→ P23





選んだコースの
ランプが点灯します。

洗濯容量 化繊 3kg 以下

風乾燥時間 : 3時間(固定)

お知らせ

- 洗濯物をほぐすために定期的にかくはん運転をします。
- 自分流コースでは「風乾燥」を記憶します。
- 脱水時間は自動設定され、変更できません。

洗濯コース+風乾燥

風乾燥のみ

1 水栓を開く

- 風乾燥のみを設定する場合には、先に「脱水」を選ばないと設定できません。

2 洗濯物を入れ、電源を入れる

- 風乾燥運転のみの場合、洗濯物をほぐして片寄らないように入れてください。
→ 振動が少なく乾きが早くなります。

3 使用するコースを選ぶ

3 上ぶたを閉め「標準」を選ぶ

4 「脱水」を選び 設定する

5 「風乾燥」を選び 設定する

6 スタートする

7 給水が始まってから、 洗剤を入れ、上ぶたを 閉める

- 必要に応じ、ソフト仕上剤、漂白剤を入れます。→P10
(上ぶたが開いていると
洗い運転は始まりません。)

8 ブザーが鳴ったら、運転終了

9 水栓を閉じ、 糸くずフィルターを 掃除する

風乾燥をする

コースの運転内容を変更する【好み設定】

各コースの運転内容をお好みで変更して、「洗い」「すすぎ」「脱水」を個別に組み合わせたり、時間やすすぎ回数・方法などの内容を変更したりできます。変更した内容は記憶しません。

1

水栓を開き、洗濯物を入れる

「ドライ」→P14「毛布」→P16～17コースでは、洗剤・洗濯物の入れかたが異なります。

2

電源切/入

電源を入れる

3

標準

すすぎ回

自分流

使用するコースを選ぶ

4

選ぶ

変えたい行程を選ぶ

5

設定

お好みの時間、すすぎ回数・方法を設定する

必要に応じ、「風乾燥」を設定してください。

6

スタート一時停止

スタートする

7

必要に応じて洗剤を入れ、上ぶたを閉める

上ぶたが開いているため、「ピピッ」と鳴り、「U4」を表示します。上ぶたを閉めると運転を始めます。

洗剤・漂白剤・ソフト仕上剤 →P10

ブザーが鳴ったら、運転終了

水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

お知らせ

変更した内容は記憶しません。記憶させたいときは、「自分流」コースをご利用ください。

「標準」「すすぎ1回」「自分流」コースですすぎから開始すると、布量検知をしないで、水量は55Lになります。必要に応じて変更してください。

運転内容	操作方法	●点灯	○消灯	☀点滅
洗いのみ 水は残ります。	○予約 ☀洗い ○すすぎ ○脱水 選ぶで「洗い」を選び、 設定で時間決定			
すすぎのみ 排水→脱水から始めます。 水は残ります。	○予約 ○洗い ☀すすぎ ○脱水 選ぶで「すすぎ」を選び、 設定で回数・方法を決定			
脱水のみ 水があれば、排水から始めます。	○予約 ○洗い ○すすぎ ☀脱水 選ぶで「脱水」を選び、 設定で時間決定			
洗い→すすぎ 水は残ります。	○予約 ☀洗い ○すすぎ ○脱水 選ぶで「洗い」を選び、 設定で時間決定 ○予約 ●洗い ☀すすぎ ○脱水 選ぶで「すすぎ」を選び、 設定で回数・方法を決定			
洗い→脱水	○予約 ☀洗い ○すすぎ ○脱水 選ぶで「洗い」を選び、 設定で時間決定 ○予約 ●洗い ○すすぎ ☀脱水 選ぶで「脱水」を選び、 設定で時間決定			
すすぎ→脱水 排水→脱水から始めます。	○予約 ○洗い ☀すすぎ ○脱水 選ぶで「すすぎ」を選び、 設定で回数・方法を決定 ○予約 ●洗い ○すすぎ ☀脱水 選ぶで「脱水」を選び、 設定で時間決定			
洗い→すすぎ→脱水	○予約 ☀洗い ○すすぎ ○脱水 選ぶで「洗い」を選び、 設定で時間決定 ○予約 ●洗い ☀すすぎ ○脱水 選ぶで「すすぎ」を選び、 設定で回数・方法を決定 ○予約 ●洗い ○すすぎ ☀脱水 選ぶで「脱水」を選び、 設定で時間決定			
排水のみ	洗濯・脱水槽内の水を排水したい →P23			

「自分流」「ドライ」「毛布」コースは、運転内容が自動で設定されます。使用しない行程は、

□

に設定してください。

(例)「ドライ」コースで「洗い→すすぎ」をしたいとき

選ぶで「脱水」を選び、設定で脱水時間を

□

に設定し、

スタート一時停止

スタートする

洗い時間

洗うもの(例)

6分 ↓ 9分	普通の汚れもの
10分 ↓ 15分	汚れのひどいもの
0	洗いなし
1分 ↓ 5分	汚れの少ないもの

すすぎ回数・方法

	標準 すすぎ1回	自分流・ドライ 毛布
2回 ↓ 注水2回	シャワーすすぎ1回+ ため1回	ため2回
3回 ↓ 注水3回	シャワーすすぎ1回+ 注水1回	注水2回
0	ため3回	ため3回
1回 ↓ 注水1回	注水3回	注水3回
	すすぎなし	すすぎなし
	ため1回	ため1回
	注水1回	注水1回

脱水時間

脱水するもの(例)

4分 ↓ 7分	普通の洗濯物
8分 ↓ 10分	厚物
0	脱水なし
1分	シワに なりやすいもの
2分 ↓ 3分	化繊

・「ドライ」コースは、0～3分のみ選べます。

予約運転をする

運転終了時間を予約できます。

「ドライ」「槽洗浄」コースは予約できません。

お知らせ

- ・ 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたときは、予約が取り消されます。
- ・ 運転終了時間は、水道水圧・排水条件などで変わります。

お願い

- ・ 水栓からの水もれがないか確認してください。
- ・ 色移りしやすい衣類は、一緒に洗濯しないでください。
- ・ 衣類のシワ付き防止のため、運転終了後、すぐに干してください。

粉石けん

固まる場合があるので、使わないでください。

漂白剤

酸素系をお使いください。塩素系は、変色や損傷の原因になるため、使わないでください。

ソフト仕上剤

予約時は長時間放置するため、衣類の上にこぼした場合は、水洗いしてください。
落ちないときは、洗剤をつけてもみ洗いしてください。(シミ・色落ち・傷みの原因)

予約待機中の 運転内容の確認

スタート1分以降に
設定を押す

予約の取り消し

電源を切る

予約の変更

一度電源を切って
設定しなおす

1 水栓を開き、洗濯物を入れる

- ・ 「毛布」コースでは、洗剤・洗濯物の入れかたが異なります。→P16~17

2 電源を入れる

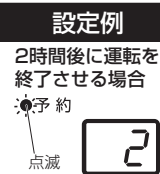
3 使用するコースを選ぶ

- ・ 必要に応じ、「風乾燥」を設定してください。

4 「予約」を選ぶ

5 運転終了時間を選ぶ

- ・ 最長 12 時間後までを
1 時間単位で予約できます。



6 スタートする

- ・ 「毛布」コース以外では、水のない状態でパルセーターが回転し、水量を表示します。 布量検知 →P7

7 水量が表示されてから 洗剤を入れ、上ぶたを閉める

- ・ 約1分後、予約ランプ以外が消灯します。洗剤の目安(水量)を早めに確認してください。
(上ぶたが開いていると洗い運転は始まりません。)

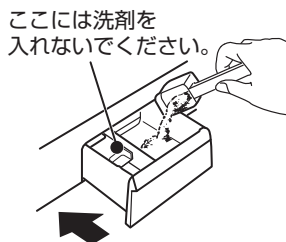
ブザーが鳴ったら、運転終了

- ・ 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

予約時の洗剤の入れかた

コンパクトタイプの粉末合成洗剤

「ソフト仕上剤・洗剤投入容器」を手前に引き出し、容器の右側に洗剤を入れます。容器がぬれている場合は、洗剤がこびりつくため、乾いた布で拭いてから入れてください。



液体洗剤・液体漂白剤・ソフト仕上剤

すぐに洗濯する場合と同じ場所に入れてください。→P10

ソフト仕上剤・
洗剤投入容器

洗濯・脱水槽

コンパクトタイプ以外の粉末合成洗剤

洗濯物にふれないように白物のハンカチなどに軽く包み、「洗濯・脱水槽」の周辺部に押し込みます。
洗剤に含まれている蛍光剤による衣類の変色を防ぐためです。



このようなときは

凍結の恐れがある

運転終了後も、本体の給水ホースや洗濯・脱水槽内には水が少し残っています。気温が低くなると、その水が凍結してしまうことがあります。

凍結防止方法

その1 凍結防止(残水排水)設定をする

残っている水を運転終了9分後に、自動で排水します。
設定すると運転終了してから10分間 **Ud** を表示します。

電源を入れ、**選ぶ** を約6秒間 押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定完了

解除

上記と同じように操作する

- 「ピピッ」と鳴り、解除完了

その2 給水ホース・排水ホースの水を抜く

- 1 水栓を閉め、上ぶたを閉める
- 2 電源を入れ、**コース** で「ドライ」を選ぶ

- 3 **スタート一時停止** スタートし、すぐに電源を切る

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

- 4 給水ホースの水栓側をはずし、バケツなどで給水ホースから出る水を受ける

- 5 電源を入れ、**標準** を選び、脱水「1分」を設定する

- 6 **スタート一時停止** スタートする

- 洗濯・脱水槽内の水を排水するためです。



凍結したときは…

- 1 給水ホースの接続部を蒸しタオルで包む
- 2 水栓を閉め、給水ホースをはずし、お湯(50℃未満)につける
- 3 約2Lのお湯(50℃未満)を洗濯・脱水槽に入れ、約10分間放置する
- 4 給水ホースをつないで水栓を開き、下記内容を確認する
 - 手でパルセーターが回せるか
 - 運転して給水・排水するか



洗濯液を2度使いたい

下記手順とお好み設定⇒P20 をお読みください。

1度目は汚れの少ないもので、汚れのひどいものは2度目に洗いましょう。

- 1 1度目の洗濯物と洗剤を入れ、使用するコースで「洗い」のみ運転をする



- 2 洗濯物を取り出し、2度目の洗濯物を入れる
 - 必要に応じて洗剤を追加します。



- 3 使用するコースと水量を設定し、「洗い→すすぎ→脱水」運転をする

- 4 運転終了後、2度目の洗濯物を取り出し、1度目の洗濯物を戻す
 - 洗濯物は均等に入れてください。



- 5 使用するコースと水量を設定し、「すすぎ→脱水」運転をする

風呂の残り湯を使いたい

- 1 **電源切/入** 水栓を開き、電源を入れる

- 2 洗濯物と洗剤を入れ、使用するコースと水量を設定する

- 3 洗濯物がつかるまで残り湯(50℃未満)を洗濯・脱水槽に入れる

- こぼさないようにご注意ください。

- 4 **スタート一時停止** 上ぶたを閉め、スタートする

- 設定水量まで残り湯が入っていない場合は、水道水が追加されます。



自動設定水量を調節したい

自動で決まる水量を、少なめや多めに調節することができます。洗濯する前にあらかじめ設定してください。

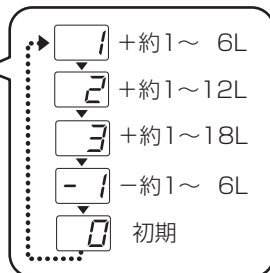
1 電源「切」の状態です

選ぶと**水量**を押しながら**電源切/入**を押す

- 「ピー」と鳴り、**0** (初期)を表示

2 **水量**を押す

- 押す度に調節する水量が変わります。
- 水量は、洗濯物の量や質・水道水圧により変わります。
- 最低水量15L～最高水量55Lの範囲内で調整されます。



3 **電源切/入** 電源を切る

- 電源を切っても、設定内容を記憶しています。

解除 上記と同じように操作する

- **0** (初期)に設定する

洗濯・脱水槽内の水を排水したい

1 電源を入れ、上ぶたを閉め、**標準**を選ぶ

2 **選ぶ**で「脱水」を選び、**設定**を押す

3 **スタート一時停止**を押してスタートし、洗濯・脱水槽が回りだしたら途中で**スタート一時停止**を押して一時停止しふたロックが解除したら、電源を切る

お手入れ

必要に応じて

本体

水滴、糸くず、汚れがついたら…

水を含ませたやわらかい布で拭いてください。

- 汚れがひどい場合は、うすめた台所用中性洗剤または石けん水をつけて拭き取った後、絞ったやわらかい布で水拭きしてください。
- 洗濯・脱水槽の上部、上ぶたも拭いてください。吸気口が詰まると「風乾燥」の性能が低下します。



終了ブザー音を消したい

電源「入」の状態です **スタート一時停止** を約4秒間押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定が完了

再び鳴らしたいとき

上記と同じように操作する

- 「ピピッ」と鳴り、設定が完了

運転途中に変更したい

- 水量は、すすぎ終了まで変更できます。
- 「洗い」ランプ点滅中は、**選ぶ**を押すと注水すすぎ・ためすすぎの切り換えができます。

その他の変更は、電源を切り、再び「入」にしてから設定し直してください。

チャイルドロックを設定したい

子供の安全のため、運転停止中や電源「切」のときも、上ぶたが開かないようにすることができます。

電源「入」の状態です **コース** を約6秒間押し続ける

- 「ピー」と鳴り、設定が完了

解除

上記と同じように操作する

- 「ピピッ」と鳴り、解除が完了

- チャイルドロック設定時には、運転スタート前や一時停止中、**UL**を表示します。
- 一度設定すると、電源を切っても解除するまで開けられません。いつでも設定／解除ができます。

ご注意

- 特に、上ぶたなどのプラスチック部分に、洗剤・漂白剤・ソフト仕上剤がついた場合…すぐに水を含ませたやわらかい布で拭き取ってください。放置するとプラスチック部品が割れる原因になります。
- 住宅用合成洗剤・クレンザー・ベンジン・シンナーなどで拭かないでください。プラスチック部品を傷めます。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。

お手入れ (つづき)

必要に応じて

洗濯・脱水槽

石けんカス・黒カビ

石けんカス・黒カビを防ぐために

- 長期間のご使用で、石けんカス（黒いもやもやしたもの）が発生し、洗濯物につくことがあります。洗剤の入れすぎや溶かし不足がないようにしてください。
- 普段使わないときは、上ぶたを開けて、できるだけ洗濯・脱水槽内の水分を取り除いてください。

石けんカス・黒カビが発生したら…

- 「槽洗浄」コースを運転してください。

さび

さびを防ぐために

- 赤さびの混じった水やヘアピンなど、さびやすいものを入れないでください。
- 長時間水を入れたまま放置しないでください。

さびがついたら…

- やわらかい布かスポンジに、市販のクリームクレンザーをつけてさびを拭き取ってください。
- 金属たわしなどは洗濯・脱水槽を傷めるので使用しないでください。

槽洗浄コース

別売の洗濯槽クリーナーで、洗濯・脱水槽を洗浄します。洗濯物はいれないでください。

所要時間 約12時間

洗濯槽クリーナー（SWCLEAN-1）を準備してください。別売 ➡ P34



運転前

- 刺激臭がします。換気を十分にしてください。
- 洗濯槽クリーナーの説明書をよくお読みください。
- 糸くずフィルターのゴミを取り除いてください。
- ゴム手袋などをして肌を保護してください。

運転後

- 浮き出た石けんカスは拭き取ってください。
- 糸くずフィルターを掃除してください。



お知らせ

- 「槽洗浄」コースは、運転内容の変更はできません。

お願い

- 24時間以上、洗浄液を入れたまま放置しないでください。（故障の原因）

1



水栓を開き、電源を入れる

- 洗濯物はいれないでください。

2



「槽洗浄」を選ぶ

3



上ぶたを開けたまま、スタートする

4

給水が止まったら、洗濯槽クリーナー全て(1.5L)を入れ、上ぶたを閉める

- 給水が止まると「ピピッ」と鳴ります。

5



を2回押す

- 洗濯槽クリーナーを混ぜるために数分かくはんし、その後約11時間つけおきをします。

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。

毎 回

糸くずフィルター

ネットが目詰まりすると、ゴミがとれにくくなります。

1

ツマミを下に押さえながら上側を手前に引いてはずす



2

ネットを裏返して糸くずを取り除いてから、水中でネットを洗う

- 裏返したネットは、元どおりにしてください。



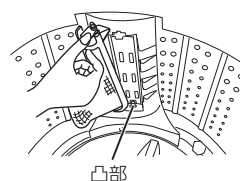
（ネットが乾いているときは、水中でなくても、ネットを裏返すと簡単にゴミをはがし取ることができます。）

3

糸くずフィルターの穴を洗濯・脱水槽内の凸部に差し込んでから全体を押し込む

お願い

- 衣類が傷む原因になるため、必ず取り付けて洗濯してください。



お知らせ

- 糸くずをためたまま洗濯をするとネット部の寿命が短くなったり、糸くずが逆流して洗濯物につく場合があります。お手入れは毎回行ってください。
- 消耗部品のため、ネットが破れたときは、お買い上げの販売店でお買い求めください。別売 ➡ P34

必要に応じて

給水口

給水口にゴミがたまると、水の出かたが悪くなります。

- 1 **電源切/入** 水栓を閉め、電源を入れる
- 2 **コース** 「ドライ」を選ぶ
- 3 **スタート一時停止** スタートし、**電源切/入** すぐに電源を切る

- ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

- 4 袋ナットをゆるめてはずし、歯ブラシなどでゴミを取り除く

- 5 袋ナットを傾きのないように確実に締め付ける



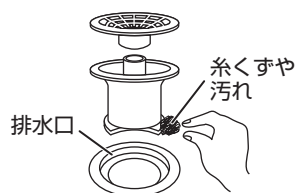
ご注意

- 井戸水などは不純物が多くゴミがたまりやすいため、早めにお手入れをしてください。

ときどき

排水口

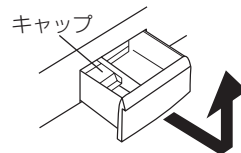
排水口には糸くずや汚れがたまりやすいため、定期的に糸くずなどを取り除いてください。放置すると臭いの原因、排水できない原因になります。



ときどき

ソフト仕上剤・洗剤投入容器

- 1 手前に引き出し、持ち上げてはずす
 - 2 水洗いする
 - 3 斜め上からはめこみ、押し止める
- お手入れ後、キャップは必ず底につくまで押し込んでください。ソフト仕上剤が自動投入できなくなります。



お知らせ

- 運転終了後、容器内をセルフクリーニングした水が残っていることがあります。

据え付け

この据え付けかたどおりに設置・取り付けをしないと事故・損害を生じて当社は一切責任を負えません。

据え付け前に、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

据え付け後は、必ず試運転をして、水もれや異常音が発生しないことを確認してください。→ P31

1

据え付け場所の確認



警告



浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない

(火災・感電・故障・変形の原因)

しっかりした水平な床に据え付ける

傾斜した床や弱い床、不安定な台の上は振動や騒音が大きくなります。

次のような場所には、設置しない

- 直射日光のあたる場所
(プラスチック部品の変色・変形の原因)
- 冬期に凍結の恐れのある場所
- 平らでない床・弱い床・凸凹な床の上
振動や騒音が大きくなります。床が弱いときは、販売店にご相談ください。
- 高い置台の上
(底部と床の隙間から、子供などが手を入れ、けがをする原因)

テレビ・ラジオなどの家電製品を近づけない

(画像の乱れ・雑音の原因)

包装用の台座は、据え付けの台として使わない

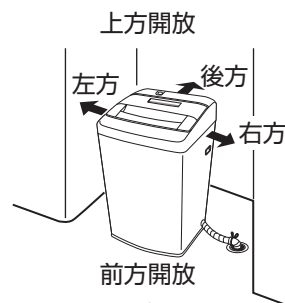
(本体故障の原因)

本体は前方や上方を開放して、壁面から表の寸法以上離すこと

- 異常な振動や音を防ぐためです。

場所	離隔距離(cm)
左方	※ 1.5
右方	※ 1.5
後方	1.5
下方	0

※排水ホース接続側は、かべから8cm以上
真下排水パイプを使用した場合は、排水側はかべから15cm以上



洗濯機トレイの使用をおすすめします

気温と水温の差が大きいと本体の内側に結露（露つき）が生じます。この結露や万一の水はねで床面をぬらすことを防止するためです。



別売 → P34

お手入れ

据え付け

据え付け (つづき)

②

排水ホースの取り付け

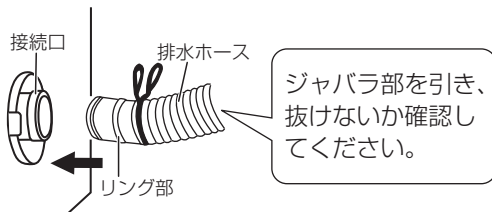
ご注意

排水ホースの取り付けは、確実に行ってください。

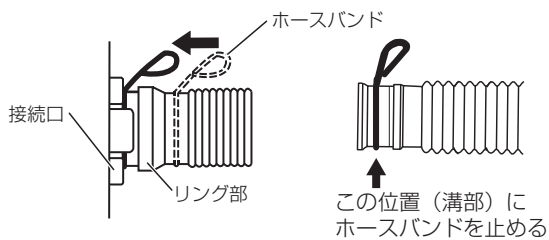
正しく取り付けないと、使用中に排水ホースが抜け、水もれの原因になります。

1 排水ホースを接続口に「コツン」と当たるまで差し込む

お願い 排水ホースの抜けを防止するために接続口に凸部があるので強く押し込んでください。

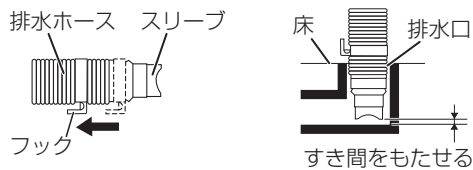


2 ホースバンドを下図の位置に移して止める



3 フックをずらし、排水口に差し込む

- スリーブは、排水ホースの先端がふさがれて排水が悪くならないようにすき間をもたせるものです。必ず取り付けてご使用ください。



排水ホースは、排水時の水の力や振動などで動く場合がありますので、排水口にしっかり差し込み抜けないことを確認してください。

排水ホースを延長する場合

お買い上げの販売店、または当社 **総合相談窓口** にご相談のうえ、別売の排水ホース補修キットをお買い求めください。別売 ➡ P34

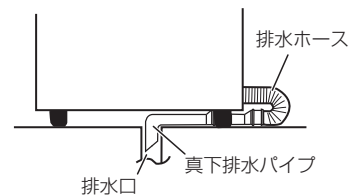
排水ホースを延長する場合や敷居を越える場合の高さは、下表に従ってください。

延長ホースの状態	延長ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	15cm未満	1m未満
途中で高くない場合	—	3m未満



排水口が本体の下にある場合

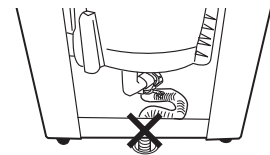
別売の真下排水パイプをお買い求めください。
別売 ➡ P34



取り付け方法は、真下排水パイプの取扱説明書に従ってください。

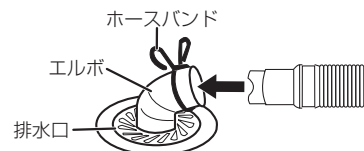
お願い

内部排水ホースを直接排水口に入れないでください。内部排水ホースが破れて水もれしたり、異常音の原因になります。

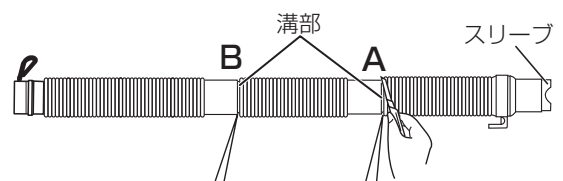


排水口がエルボの場合

排水ホース先端部をエルボにしっかり差し込み、ホースバンド(別売)で確実に固定してください。別売 ➡ P34



排水ホースが長すぎる場合



本体と洗濯パンなどの排水口の距離に応じて、溝部2カ所A・Bのうち、どちらかの溝部を切って先端にスリーブをはめ直してください。

排水ホースを左側に付け換える場合

排水ホースは、左側に付け換えることができます。

警告

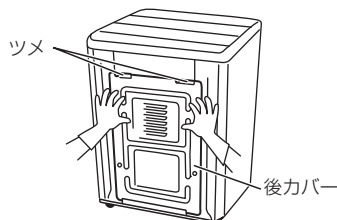
！ けがを防ぐために、付け換え作業時は必ず手袋をする

お願い

電源プラグをコンセントから抜き、下記手順をお読みのうえ、付け換え作業をしてください。正しく取り付けないと水もれの原因になります。

1 後力バーをはずす

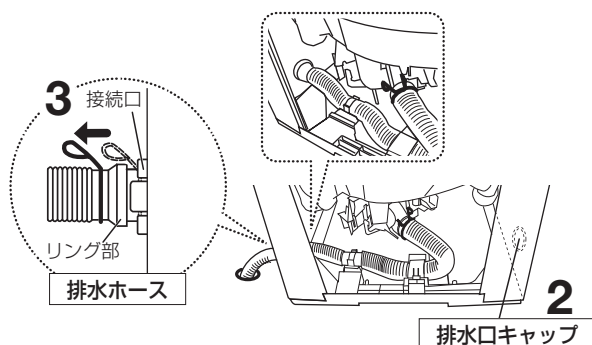
- ① 後力バーの取り付けネジをはずす(4本)
- ② 上部のツメ2カ所をはずして、後力バーを上へ持ち上げてはずす



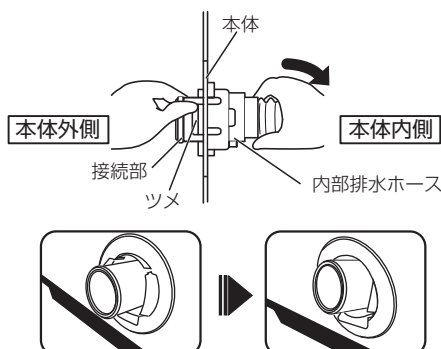
2 本体左側の排水口キャップをはずす

3 排水ホースをはずす

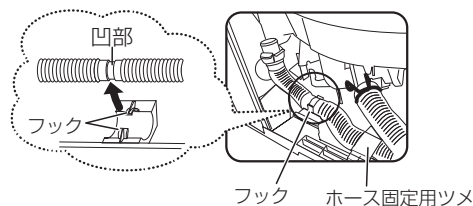
- 排水ホースは、ホースバンドをリング部の方向にずらしてからはずします。



4 接続部のツメ上部を強くつまみ、内部排水ホースを下側(矢印方向)に動かし、本体からはずす



5 内部排水ホースをフックからはずす



ご注意

内部排水ホースを固定しているホース固定用ツメは絶対にはずさないでください。(水もれ・異常振動の原因)

6 内部排水ホースを本体左側の穴にはめ込む

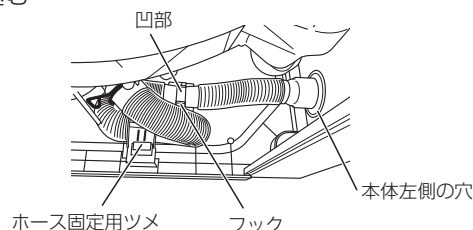
- ① 内部排水ホースつば部を下側にし、本体の穴に入れる



- ② 内部排水ホースつば部を本体の外側に引っかけてから上へ持ち上げてはめ込む



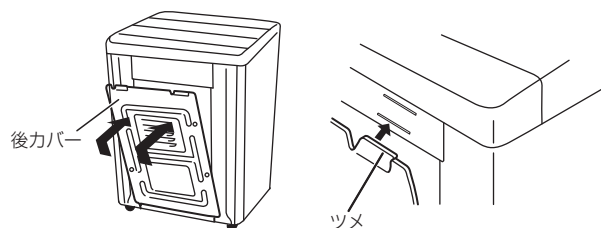
- ③ 内部排水ホースの凹部を確実にフックにはめ込む



7 排水口キャップを本体右側に取り付ける

8 後力バーを取り付ける

- ① 下側を本体の溝にはめてから、上側のツメ2カ所をはめ込む
- ② ネジを取り付ける(4本)



9 接続口に排水ホースを取り付ける → P26

- 正しく取り付けないと排水ホースが抜け、水もれの原因になります。

据え付け (つづき)

③ 給水ホースの取り付け

- 給水ホース・マジックつぎ手は、付属品または当社専用のものを使用してください。
- 水栓にはマジックつぎ手が見えるものと見えないものがありますので、ご注意ください。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、マジックつぎ手や給水口から水もれがないか確認してください。

step1 水栓形状を確認する

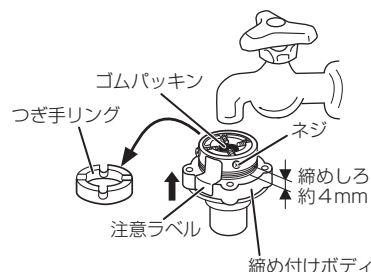
横水栓	角口栓	オートストッパー 水栓(洗濯機用)
付属のマジックつぎ手を取り付けてください。	16mm以上必要です	直接、給水ホースの取り付けができます。
		付属のマジックつぎ手は使用しません。
→ step2		→ step3

万能ホーム水栓	自在水栓	カップリング 横水栓
取りはずす	ここから水もれの恐れがあります	取りはずす
		取り付けができてストッパーが付いていないと使えません
別売の給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けてください。	別売 → P34	詳しくは、CB-J6の説明書をお読みください。
②本体	①アダプター	③給水ジョイント部
②	③	③
①②③を使用	①③を使用	③を使用
給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けた場合は、付属のマジックつぎ手を使用せず、直接給水ホースを取り付けてください。		
→ step3		

step2 マジックつぎ手を取り付ける

1 ネジ(4本)をゆるめ、マジックつぎ手のゴムパッキンと水栓の先端を垂直に押し当てる

- 水栓の径が大きいときは、つぎ手リングをはずしてください。
- 注意ラベルは締め付けボディをゆるめた状態で貼ってあります。水栓にマジックつぎ手をネジで締め付けるまでは、はがさないでください。

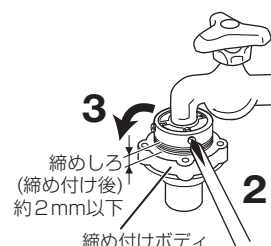


2 水栓の先端がマジックつぎ手の中心になるようにネジを均等にしっかり締め付ける

- 壁側になるネジは前もって調整しておくとう便利です。

3 注意ラベルをはがし、締め付けボディを矢印方向へ回して、締めしろが約2mm以下になるまで強く締め付ける

- 強く締め付けしないと水もれする恐れがあります。



ご注意

- 取り付けかた・転居の際の取り換え・長期間の使用でゆるみが生じたなどで、水もれする場合
→ 1 図のように締めしろを約4mmにゆるめてから、取り付け直してください。
- パッキンに蛇口の形が付いていたり、劣化している場合
→ マジックつぎ手を取り換えてください。
転居や取り付け直したときは、特にご注意ください。
- ゆるみ・ぐらつき・傾きがないか、確認してください。
- 今までお使いのマジックつぎ手があっても、必ず新品と取り換えてください。

水栓が合わないときは、お買い上げの販売店、水道工事店、または当社 総合相談窓口 にご相談ください。

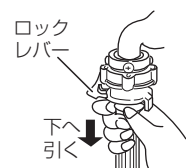
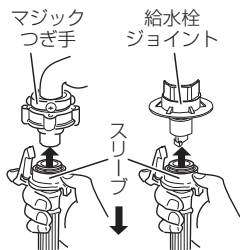
→ P36

step3

給水ホースをつなぐ

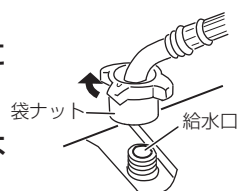
水栓側

- 1 スリーブを引き下げたままマジックつぎ手(または給水栓ジョイント / オートストッパー水栓)に差し込む
- 2 スリーブをはなし、パチンと音がするまで差し込む
- 3 ロックレバーがかかっているのを確認した後、給水ホースを下へ引き、完全に取り付けができているか確認する
 - ロックレバーと本体が接触しない位置で取り付けてください。(水もれの恐れ)



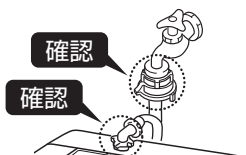
本体側

- 1 袋ナットの先を給水口にあてがう
- 2 袋ナットを傾きのないように確実に締め付ける



ご注意

- 転居などで取り付け直したときは、特にご注意ください。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、マジックつぎ手や給水口から水もれがないか確認してください。



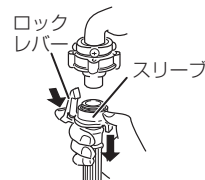
給水ホースをはずす場合

水栓を閉めるだけでは水が飛び散りますので、次の手順を必ずお守りください。

- 1 **電源切/入** 水栓を閉め、電源を入れる
- 2 **コース** 「ドライ」を選ぶ
- 3 **スタート一時停止** スタートし、**電源切/入** すぐに電源を切る
 - ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

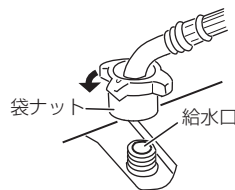
4 水栓側

ロックレバーを押し、スリーブを引き下げて給水ホースをはずし、バケツなどで給水ホースから出る水を受ける



5 本体側

袋ナットをゆるめてはずす

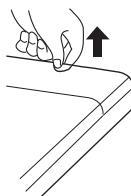


給水ホースを延長する場合

お買い上げの販売店、または当社 **総合相談窓口** にご相談のうえ、別売の給水延長ホースをお買い求めください。別売▶P34

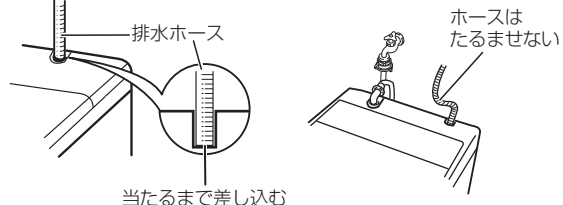
4 衣類乾燥機(除湿型)と組み合わせるとき

- 1 本体上面にある「除湿型衣類乾燥機用排水口」の後ろにある穴に指を入れ、上に引き上げて、ふたを取り除く
 - 固い場合は、無理をしないでドライバーなどを差し込んで、上にこじ上げてください。
 - ふたを取り除いた切り跡でけがをしないように注意してください。



- 2 乾燥機の排水ホースが使用中に抜けないようにしっかり排水口の奥まで差し込む

- 差し込みが不十分だと乾燥機の水蒸気が結露することがあります。
- 排水ホースがたるむ場合は、ホースが排水口の奥から浮き上がらないことを確認したうえで切ってください。



ご注意

- 衣類乾燥機によっては、「除湿型衣類乾燥機用排水口」を使用できない場合があります。

据え付け (つづき)

5

水平の確認と調整

設置場所・設置面の状態により、本体が水平に置けない場合があります。
次の説明をお読みのうえ、ガタつきをなくし、水平設置を確認してください。

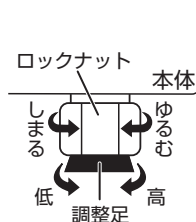
- ご注意**
- 水平に設置できていないと本体の移動・異常振動・騒音・故障の原因となります。
必ず水平になるよう調整してください。

1 ガタつきがないように調整足(前面右1カ所)の高さを調整する

- 本体を傾け、前面右足を浮かして調整してください。

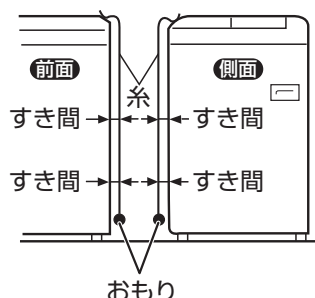
- ①ロックナットをゆるめ、調整足を回して高さを調整する

- ②調整が終わったら、ロックナットを回してしっかり締め付ける



2 水準器で水平度を確認する

- 水準器がない場合は、おもりを付けた糸のように下げ、前面と側面の水平度を確認してください。



糸と本体のすき間が上下同じなら水平

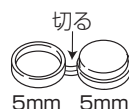
3 水平度に応じ、調整足または高さ調節クッションゴム(別売)で調整する

- 調整足の調整が終わったらロックナットを回してしっかり締め付けてください。



高さ調節クッションゴム

別売➡P34



- 2個セットになっています。切り離してご使用ください。
- 1個で5mm、2個を重ねて1cmの高さ調節ができます。
- 2個重ねる場合、高さの低い方を下にして重ねてください。

4 本体の対角(右前・左後および左前・右後)を押さえて、本体がガタついていないか確認する



6

アース・電源

アース工事は有料です

警告



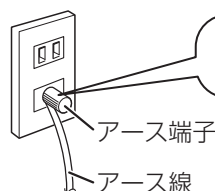
万一の感電防止のため、アース線を実際に取り付ける
(故障や漏電のときに感電する原因)

- 漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。(詳しくはお買い上げの販売店、または電気工事店にご相談ください。)
- アースの付けはずしは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 設置場所の変更や転居の際にも、アースの取り付けを必ず行ってください。



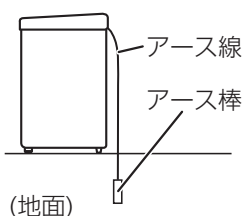
定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
電源プラグは根元まで確実に差し込む
(火災・感電の原因)

コンセントにアース端子がある場合



アースの先端を確実にアース端子に接続する

コンセントにアース端子がない場合



法令により電気工事士によるD種接地工事が必要です。お買い上げの販売店、または当社「総合相談窓口」にご相談ください。 ➡P36

お願い

- ガス管、電話線や避雷針、水道管には接続しないでください。(法令などで禁止されています)

必ず設置確認・試運転を行ってください。

確認重要箇所

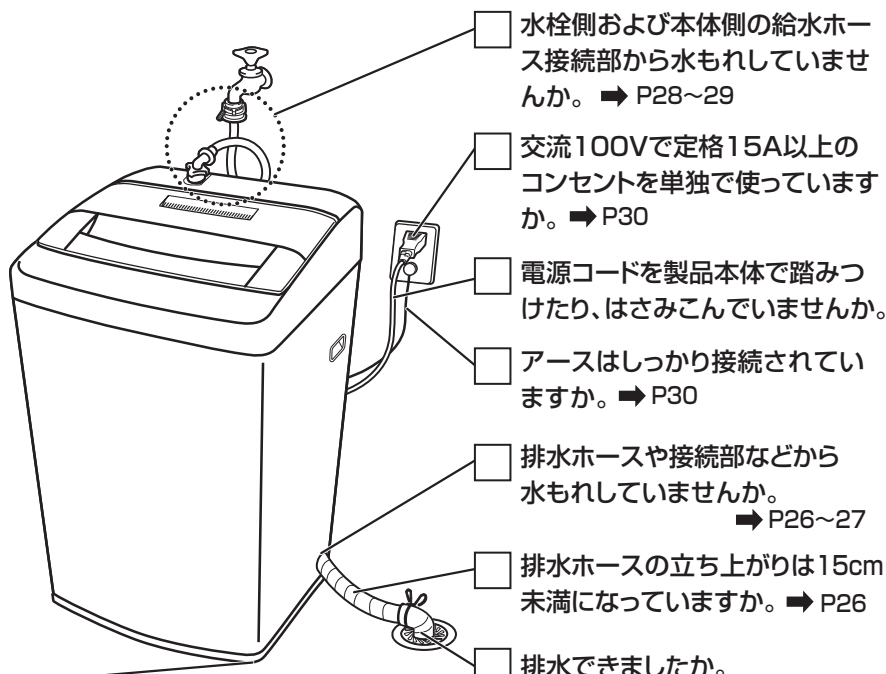
☐ 水準器などにより水平設置されていますか。⇒ P30

☐ 本体の上端を対角(右前・左後と左前・右後の両方)にゆり動かして、ガタついていませんか。

●ガタつきがあると、脱水時の振動・騒音・故障の原因になります。⇒ P30



☐ 調整足はしっかり締まっていますか。⇒ P30



☐ 水栓側および本体側の給水ホース接続部から水もれしていませんか。⇒ P28~29

☐ 交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使っていますか。⇒ P30

☐ 電源コードを製品本体で踏みつけたり、はさみこんでいませんか。

☐ アースはしっかり接続されていますか。⇒ P30

☐ 排水ホースや接続部などから水もれしていませんか。⇒ P26~27

☐ 排水ホースの立ち上がりは15cm未満になっていますか。⇒ P26

☐ 排水できましたか。

●排水口にほこり・ゴミなどが詰まっていると排水できません。

試運転

①給水⇒②洗い⇒③排水⇒④脱水 運転(約5分)を行います。

- 水もれ・給排水の不具合・異常な音・本体のガタつき・揺れのないことを確認してください。
- 洗濯・脱水槽内には、**何も入れない**で次の手順で試運転をしてください。

1 水栓を開き、上ぶたを閉める

2 電源「切」の状態ですコースと自分流を押しながら、電源切/入を押す

●「ピー」と鳴り、**88**を表示します。

3 スタート一時停止を押す

●試運転を開始し、残時間**5**(5分)を表示します。

約5分後に自動終了します。

●異常な音、ガタつき、揺れは出ていませんか。
設置状態のガタつきはありませんか。

●水もれはありませんか。
給水ホース、排水ホースの接続部から水滴がにじんだりしていませんか。

次の異常時には、エラー表示とブザーでお知らせします。

E1 ●給水ホースが接続され、水栓が開いていますか。

E2 ●排水ホースの確認
・立ち上がりは15cm未満になっていますか。
・排水口(フィルターやトラップ部)が糸くずなどで詰まったり、ふさがれたりしていませんか。

一時停止後、エラーの原因を取り除きスタートすると運転を継続します。

こんな表示がでたとき

表 示／状態	調べるところ	処 置
E1 給水しない	● 水栓を開いていますか。 ● 給水口の網にゴミなどが詰まっていませんか。➡P25 ● 凍結していませんか。➡P22 ● 断水していませんか。 ● 井戸水を使っていませんか。➡P25	一時停止後 異常原因を取り除き スタートする
E2 排水しない	● 排水ホースを倒していますか。 ● 排水ホースがつぶれていませんか。 ● 排水の位置が高くなっていませんか。➡P26 ● 排水ホースを排水口に差し込みすぎて、口がふさがれていませんか。➡P26 ● 排水口（フィルターやトラップ部）に糸くずなどが詰まっていませんか。➡P25	
U3 脱水しない	● 洗濯物が片寄っていませんか。 ● 本体が傾いたり、ガタついたりしていませんか。➡P30	
E41 E42 E44 E47 ふたロック関係異常	● 上ぶたはしっかり閉まっていますか。 ● すすぎ、脱水、風乾燥、槽洗浄運転中やチャイルドロック設定時に上ぶたを無理に開けませんでしたか。	
E41・E42・E44・E47表示で調べても直らない場合は、ふたロック装置の故障の恐れがあります。 電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めてお買い上げの販売店に連絡し、点検・修理を依頼してください。		
U4 運転しない (一時停止している)	● 上ぶたが開いていませんか。	上ぶたを閉める
Ud 運転後表示する	● 凍結防止(残水排水)設定をしていませんか。➡P22	
UL 上ぶたが開かない	● チャイルドロックを設定していませんか。➡P23	
EA EF EU E7 E46 など	制御部品の点検や修理が必要です。 電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めてお買い上げの販売店に連絡し、 点検・修理を依頼してください。	

修理を依頼する前に

初期化をお試しください

本体が、外部からの雑音や妨害ノイズの影響を受けて、正常に作動しない場合があります。

下記手順に従い初期化を行ってください。購入時の設定内容に戻ります。

ただし、自動設定水量の調節は解除されません。→P23

初期化の方法	1	 電源を入れる
	2	 約6秒間押し続ける ●「ピー」と鳴り、初期化が完了
	3	 電源を切る

再度電源を入れて、
動作を確認してください。

なお、異常があるときは、内部をさわらずに
電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉めてお買い上げの販売店、または当社
修理相談窓口にご連絡ください。→P36

お願い

故障などで、洗濯途中の洗濯物を長期間放置すると色落ち、色移りすることがあります。

→洗濯物は手洗いなどをしてください。

故障かな？

修理依頼やお問い合わせの前に、以下をご確認ください。

状 態		原 因 / 調べるところ
本 体	運転しない	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでいますか。 ●電源が入っていますか。 ●「スタート/一時停止」を押しましたか。 ●予約中ではないですか。 ●上ぶたが閉まっていますか。 ●水栓を開いていますか。 ●停電していませんか。 ●ご家庭のヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。
	運転中や電源スイッチを切っても操作パネル部が熱を持っている	●部品の放熱作用によるものです。
	運転中の振動、音が大きい	●本体の設置が正しく行われていますか。 水平の確認と調整 ➡P30
洗 い ・ す す ぎ	給水前にパルセーターが回転する	●洗濯量を検知しているためです。 布量検知➡P7
	少ない水量でパルセーターが回転する	●「標準」「すすぎ 1 回」「自分流」コースで、洗いの始めに高濃度クリーン洗浄を行います。➡P11
	途中で給水する	●水量や洗濯物の状態を検知し、うまく洗濯できるように補給水機能がはたらいたためです。 ・洗濯物を後から追加した。 ・水量が減り、それを自動的に補う機能がはたらいた。 ・洗濯物の布回りをよくする機能がはたらいた。 ●「標準」「すすぎ 1 回」「自分流」コースで高濃度クリーン洗浄中は、水を追加しながら洗います。➡P11
	注水すすぎなのに排水ホースから水が流れ出ていない	●水圧が低いときや設定水量が低いときは、排水しないことがあります。
	注水すすぎなのにためすすぎになる	●給水量が多い場合は、洗濯・脱水槽からあふれるのを防ぐため、ためすすぎになります。
	すすぎからスタートすると給水しない	●排水→脱水してから、すすぎの給水を始めます。
脱 水	洗い後の脱水途中でためすすぎが追加される(給水する)	●洗剤量が多すぎたり、排水ホースの途中が高くなるなど排水状態が悪く、うまく脱水できない(脱水の回転が上がらない)ときは、ためすすぎを追加します。 排水ホースを延長する場合 ➡P26
	始めから高速で脱水しない	●脱水を効果的に行うために、徐々に回転を上げる運転をします。
	脱水の途中ですすぎになる(給水する)	●洗濯物が片寄ると、片寄りを修正するためにすすぎを行い、再度脱水をします。
風 乾 燥	乾きが悪い	●洗濯物の種類・量・室温・湿度などにより乾燥状態が変わります。3時間固定のため、乾きに関係なく終了します。乾き具合に応じて風乾燥運転を追加設定してください。➡P18
	運転が終了しても乾いていない	●洗濯容量が多すぎませんか。化繊の衣類で3kg以下にしてください。洗濯量を少なめにすると、風乾燥の効果が上がります。 ●脱水が不十分な衣類を入れていませんか。 ●化繊以外の衣類が混ざっていませんか。
水 量	洗濯物の量に対する水量の表示がおかしい	●水量は、洗濯量で決まります。化繊が多いときには水量を少なく表示したり、ぬれた洗濯物を入れたときには多く表示することがありますが、故障ではありません。 布量検知 ➡P7 自動設定水量を調節したい ➡P23
	同じ量を洗っているのに水量表示が違うことがある	
時 間	すすぎ前の排水・脱水時間が長い	●泡立ちをおさえ、すすぎ性能を良くするため、すすぎ前の排水・脱水を長くしています。
	洗濯時間が長い	●所要時間は、給水量毎分15Lで計算しています。15L以下であれば、長くなります。 ●あらかじめ水が入っているときや水量をお好みで設定したときは、所要時間が変わる場合があります。
	残時間表示が途中で変わる	●残時間表示は、水道水圧・排水・脱水状態などにより、補正しながら表示しているためです。

こんな表示がでたとき

故障かな？

故障かな？（つづき）

修理依頼やお問い合わせの前に、以下をご確認ください。

状 態		原 因 / 調べるところ
音	運転終了後に「ジー」と音がする	●凍結防止（残水排水）設定をしている場合は、凍結を防ぐため、排水バルブの水抜き音がします。⇒P22
	脱水終了後に「シャー」と音がする	●振動を抑えるために、洗濯・脱水槽上部に入っている液体の音です。脱水終了後や洗濯・脱水槽を手でゆらしたときに「シャー」「チャブチャブ」という音がすることがありますが異常ではありません。
臭い	異臭がする	●排水口にたまった汚れの臭いが逆流することがあります。集合住宅などで排水口に臭気防止用トラップがない場合は、本体・洗濯物に臭いがつくことがあります。 処置 - 定期的に排水口を掃除してください。⇒P25 - 臭気防止用トラップがない場合は、トラップを設置してください。
		●洗濯・脱水槽内に付着している石けんカス・黒カビなどで臭いが発生する場合があります。 処置 - 洗濯槽クリーナーを使用し、「槽洗浄」コースを運転してください。⇒P24 - 普段使用しないときは、上ぶたを開放し風通しをよくしてください。
その他	据え付け時や初めて使用するとき排水ホース接続口から水が出る	●工場での性能テスト時の残水で故障や不良ではありません。
	衣類が黄変する	●水道水のさび、粉石けんや洗剤の残り、色移りなどにより、乾燥後に黄変することがあります。塩素系漂白剤・還元型漂白剤をご使用ください。
	糸くずの付着が気になる	●すすぎ回数を増やしたり、注水すぎをおすすめします。 ●糸くずフィルターが水につかるくらいまで、水量を多めに設定してください。 ●糸くずフィルターを掃除してください。⇒P24 ●糸くずの付着が気になる衣類 ⇒P7
	ソフト仕上剤がこぼれて出てしまう	●ソフト仕上剤・洗剤投入容器のキャップの「満量」よりも多くソフト仕上剤を入れていませんか。サイフォン現象により流れ出ます。
	洗濯の途中なのに運転が止まってしまった	●上ぶたが閉まっていますか。 ●脱水時に洗濯・脱水槽の中で洗濯物が片寄っていませんか。 ●お好み設定方法を間違えていませんか。 ●槽洗浄中ではありませんか。（11時間つけおきをします） 以上の原因でないときは、こんな表示がでたとき ⇒P32 をご確認のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。

別売部品

ご要望の際は、お買い上げの販売店または当社 **総合相談窓口** にご相談ください。⇒P36

●希望小売価格は2015年12月現在

●大物洗い用洗濯ネット（CN-3） 部品コード 301 0 2169 20500 希望小売価格 3,500円（税抜）	●排水ホース補修キット 排水ホースを延長するときに 長さ 1.34m 部品コード S114755 希望小売価格 1,700円（税抜）	●給水栓ジョイント（CB-J6） 水もれ防止機能付き 部品コード 301 0 3470 25000 希望小売価格 2,400円（税抜） ※蛇口の形態によっては取り付けできないものがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。												
●洗濯槽クリーナー（SWCLEAN-1） 部品コード S0480002 希望小売価格 2,000円（税抜）	●真下排水パイプ 洗濯機真下中央部に排水口がある場合に ■HW-PIPE-2（商品扱い） 希望小売価格 1,200円（税抜） ■SW-PIPE-1（サービス扱い） 部品コード 301 0 3224 00100 希望小売価格 1,200円（税抜）	●給水延長ホース <table border="1"> <thead> <tr> <th>長さ</th><th>部品コード</th><th>希望小売価格</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1m</td><td>301 0 3275 24900</td><td>1,700円（税抜）</td></tr> <tr> <td>2m</td><td>301 0 3275 25000</td><td>2,200円（税抜）</td></tr> <tr> <td>3m</td><td>301 0 3275 25100</td><td>2,600円（税抜）</td></tr> </tbody> </table>	長さ	部品コード	希望小売価格	1m	301 0 3275 24900	1,700円（税抜）	2m	301 0 3275 25000	2,200円（税抜）	3m	301 0 3275 25100	2,600円（税抜）
長さ	部品コード	希望小売価格												
1m	301 0 3275 24900	1,700円（税抜）												
2m	301 0 3275 25000	2,200円（税抜）												
3m	301 0 3275 25100	2,600円（税抜）												
●糸くずフィルター（LINT-16） （消耗部品） 部品コード 301 0 2160 24001 希望小売価格 600円（税抜）	●ホースバンド 部品コード 301 2 3341 19900 希望小売価格 200円（税抜）	●高さ調節クッションゴム 傾斜床面、凸凹面に据え付けるときに 厚さ 5mm 部品コード 301 2 1442 23400 希望小売価格 500円（税抜）												
●洗濯機トレイ（TRAY-5） 露付きによる床のぬれ防止用に 外寸 幅660×奥行660×高さ32mm 部品コード 301 2 4134 21400 希望小売価格 7,000円（税抜）														

保証とアフターサービス

保証書(別添付)

お買い上げの販売店で発行しますので、「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのもと、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

修理を依頼されるとき

➡ P32 に従って調べてください。直らないときは内部機構をさわらずに電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉め、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご連絡いただきたい内容

- 製品名「全自動電気洗濯機」
- 品番「AQW-H71」
- お買い上げ日
- お名前・ご住所・電話番号
- 故障の内容「できるだけ具体的に」

補修用性能部品の保有期間

電気洗濯機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

- 補修用性能部品…その製品の機能を維持するために必要な部品

外国での保証は

この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other countries. No servicing is available outside of Japan.

転居されるときは

転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。

一般家庭用以外の目的でご使用になるとき

理容院、美容院、ホテル、または寮や病院など1日の使用回数が一般家庭に比べて多い場合は、短期間で部品の交換（モータ、軸受などの機構部品）が必要になることがあります。また、耐久年数も減少します。

このようなご使用は、保証期間の対象になりません。

お買い上げの販売店にご相談のうえ、業務用機器をお使いになることをおすすめします。

◆ 保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

◆ 保証期間をすぎている場合は

修理により使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

◆ 保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。

◆ 修理料金の仕組み 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断、修理、調整、点検などの費用です。
部品代	修理により使用した部品および補助材料代です。
出張料	ご依頼により、技術者を派遣する費用です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〈本体への表示内容〉

経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の表示を本体に行っています。

〈設計上の標準使用期間とは〉

- 運転時間や温湿度など、右記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

〈経年劣化とは〉

長期間にわたる使用や放置にともない生ずる劣化をいいます。

- 設置状況や環境、使用頻度が右記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、7年より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

【製造年】(本体に西暦4桁で表示してあります)

	【設計上の標準使用期間】7年 設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。
---	---

■標準的な使用条件：JIS C 9921-4による

区 分	項 目	条 件
環境条件	電 圧	100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温 度	20℃
	湿 度	65%
	設置条件	P25~P31の記載内容による標準設置
負荷条件	負 荷	7.0kg
	コース	標準コース
	給水圧力	0.03~1MPa
	給湯・給水	20℃±15℃
使用時間 及び回数	1日の平均使用回数	1.5回
	1回の使用時間	38分/37分 (50Hz/60Hz)
	1年間の使用日数	365日
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年

仕様

仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

種 類	全自動電気洗濯機	製 品 質 量	36kg
洗 濯 方 式	うず巻式	標 準 水 量	55L
外 形 寸 法	幅590×奥行564×高さ933 (mm)	定 格 消 費 電 力	480/530W (50/60Hz)
標 準 洗 濯 容 量	7.0kg (乾燥時の布質量)	標 準 使 用 水 量	118L (シャワーすすぎ+ためすすぎ1回)
標 準 脱 水 容 量		使 用 水 道 水 圧	0.03~1MPa (0.3~10kgf/cm ²)
定格電圧・周波数	100V・50Hz/60Hz共用		

- 品番の()内記号は、色記号です。
- 待機時消費電力(電源スイッチを切にした状態の電力)は、^{ゼロ}0 です。
- 標準洗濯・脱水容量は、JIS(日本工業規格)で規定された布地で乾燥状態の場合です。



この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質^[注1]を含有していません^[注2]。

(JIS C 0950の電気・電子製品の特定の化学物質の含有表示方法に従って表示しております)

【注1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロモビフェニル」及び「ポリブロモジフェニルエーテル」の6種類の化学物質

【注2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。

<http://aqua-has.com/j-moss/>

故障かな？

別売部品

保証とアフターサービス

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

仕様

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談

〈アクア 株式会社〉

受付時間：（365日） 9：00～18：30

総合相談窓口

固定電話	 0120-880-292
携帯電話・PHS	 0570-040-292（有料）
FAX	 0570-013-790（有料）

家電商品の修理サービスについてのご相談

〈アクア 株式会社〉

受付時間： 月曜日～金曜日 9：00～18：30

土曜・日曜・祝日 9：00～17：30

修理相談窓口

固定電話	 0120-778-292
携帯電話・PHS	 0570-030-292（有料）

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、当社ホームページをご覧ください。 <http://aqua-has.com/privacy/>

廃棄時に ご注意ください

家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検 長年ご使用の洗濯機の点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- 洗濯・脱水槽が止まりにくい。
- 水もれがする。（ホース、マジックつぎ手）
- こげくさい臭いや運転中に異常な音や振動がする。
- 本体にさわるとビリビリ電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用
中止

このような症状のときは、故障や事故の防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉めて必ず販売店に点検をご相談ください。

アクア 株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

品 番	AQW-H71
お買い上げ日	年 月 日
お買い上げ店名	電話（ ） -